

## 第3章 観光市場をめぐる動向

---

### 3-1. 地方創生としての観光振興

現在、国は主要な政策として「観光立国の実現」に向けた各種施策に取り組んでいます。「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成 28 年 3 月 30 日 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)、「観光立国推進基本計画」の改定(平成 29 年 4 月 25 日)をはじめ、これらのビジョン・計画を強力に推進するため、国の短期的な行動計画として、「観光ビジョン実現プログラム 2017」(観光ビジョンの実現に向けたアクション・プログラム 2017)を決定しました。これらの各種計画においては、観光振興が地方創生の重要な要素として位置づけられており、こうした観光振興への取り組みは、地方自治体においても重要なテーマとなっています。

### 3-2. 日本国内の観光動向

#### 3-2-1. インバウンド<sup>※1</sup>観光客の動向 ※1 インバウンド：訪日外国人旅行のこと

平成 28 年(2016 年)の訪日外国人旅行者数は、過去最高であった平成 27 年(2015 年)の 1,974 万人をさらに上回り、2,404 万人(対前年比 21.8%増)となり、4 年連続で過去最高を更新しました。

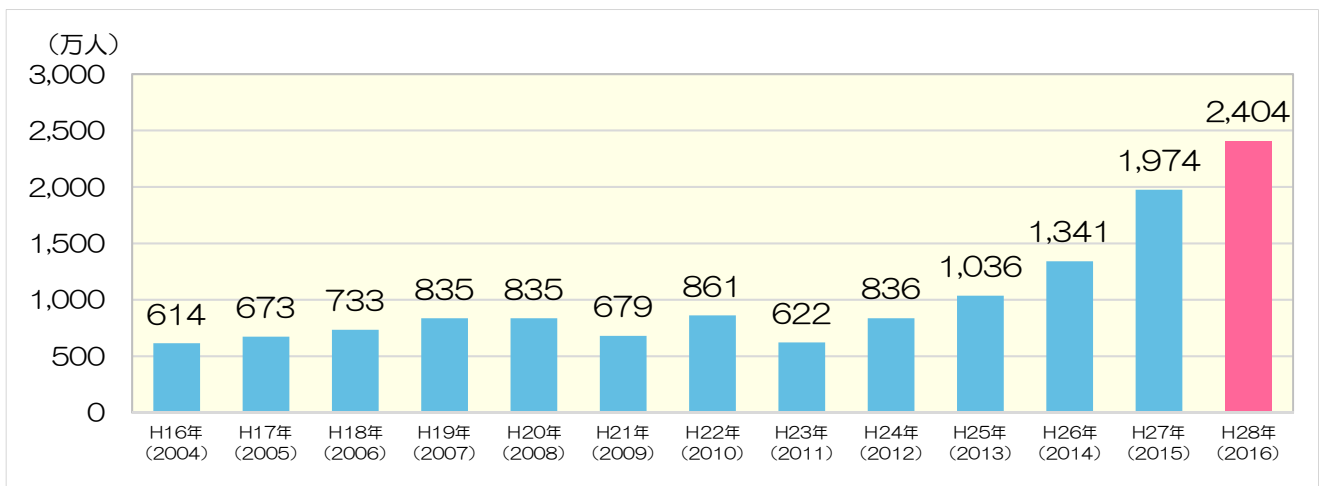


図 3. インバウンド観光客数推移(2004 年～2016 年)

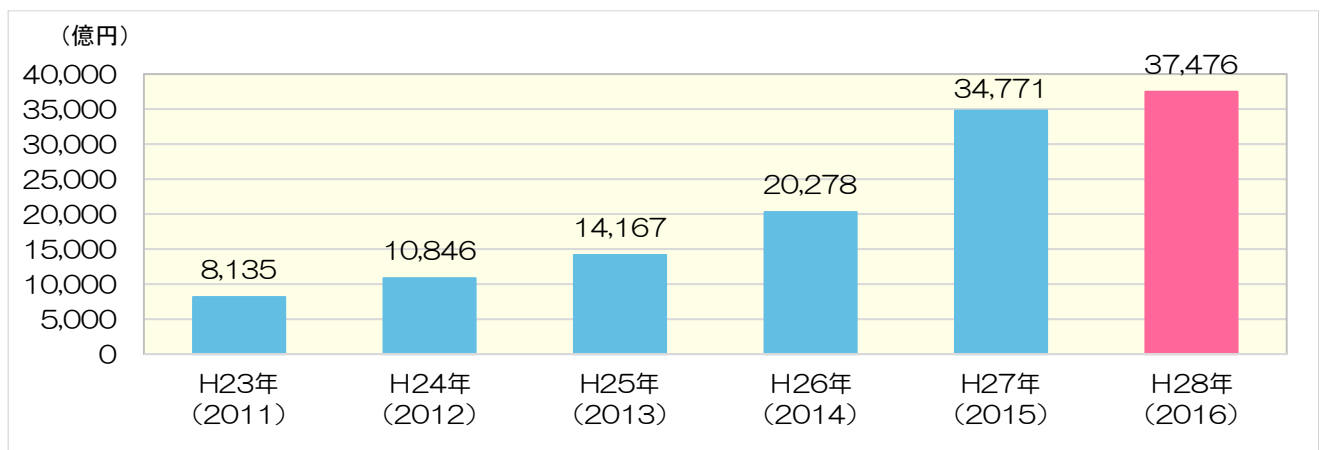


図 4. インバウンド観光客消費額推移(2011 年～2016 年)

資料：日本政府観光局 (JNTO) 資料に基づき観光庁作成

外国人延べ宿泊者数の対前年比を三大都市圏と地方部で比較すると、三大都市圏で4.8%増、地方部で13.2%増となっており、地方部の伸びが、三大都市圏の伸びを大きく上回っています。

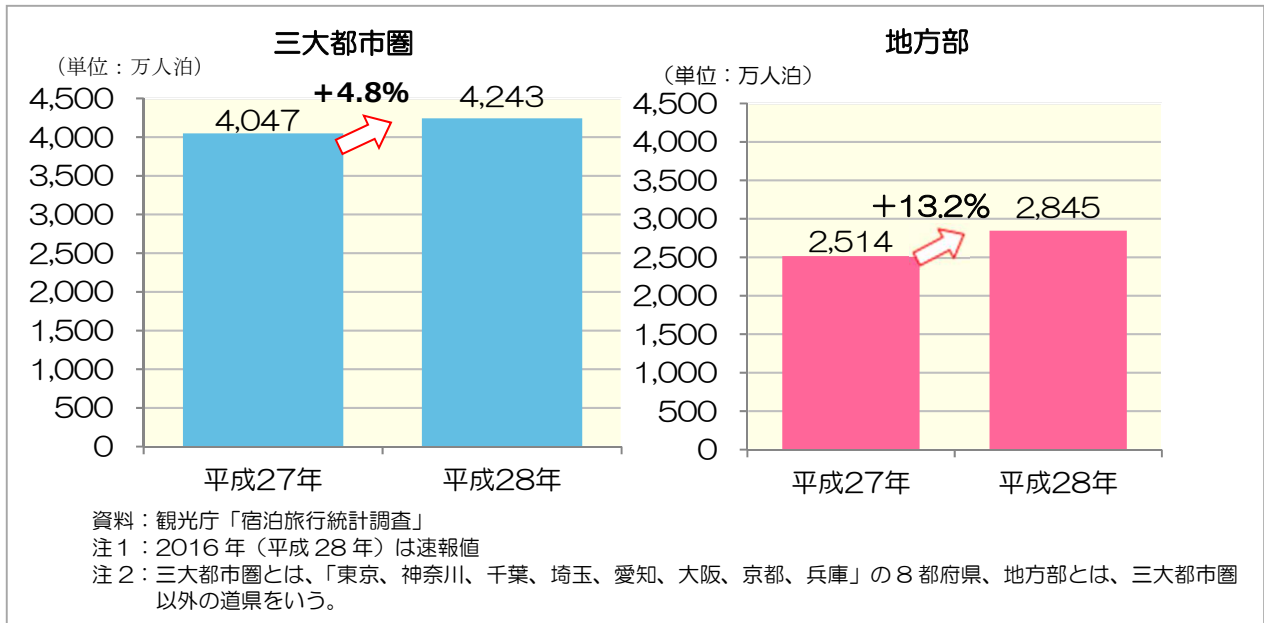


図5. 三大都市圏と地方部の比較(平成27年・平成28年)

### 3-2-2. 国内旅行の市場動向

平成23年(2011年)に発生した東日本大震災により減少していた国内旅行者数は、徐々に回復の傾向にありましたが、平成26年(2014年)の消費税率の引き上げにより、平成23年をさらに下回る水準まで減少しました。現在は、緩やかな回復基調にありますが、我が国において、人口減少が進展していくことを考えれば、日本人による国内旅行市場は「成熟期」を迎えて、市場は縮小していくことが予想されます。

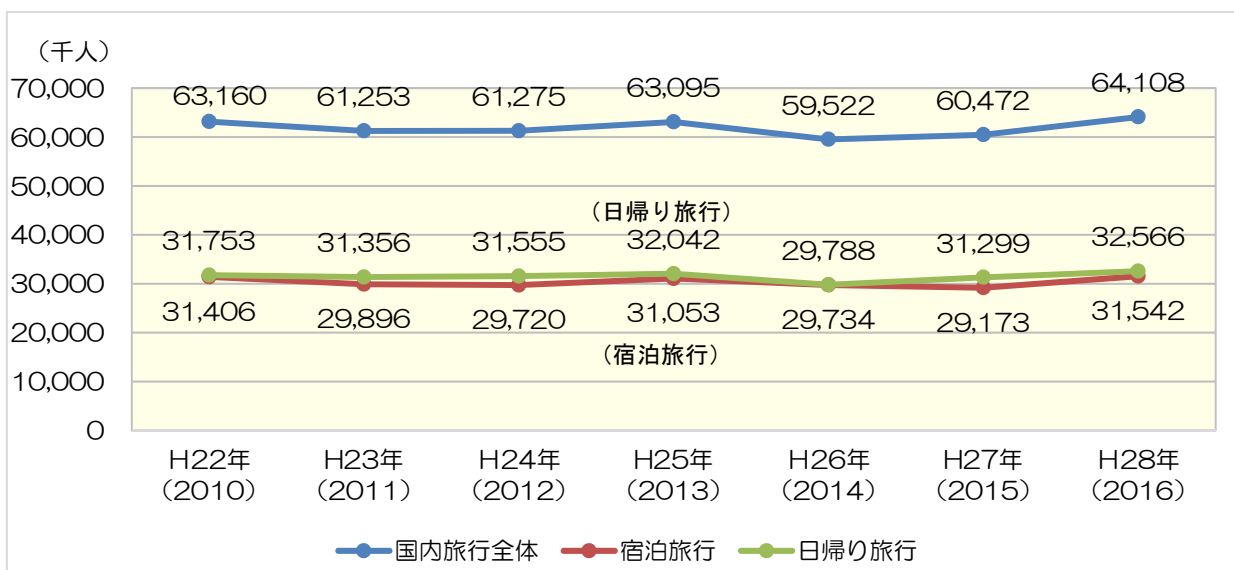


図6. 日本人国内旅行者数の推移(平成22年~平成28年)

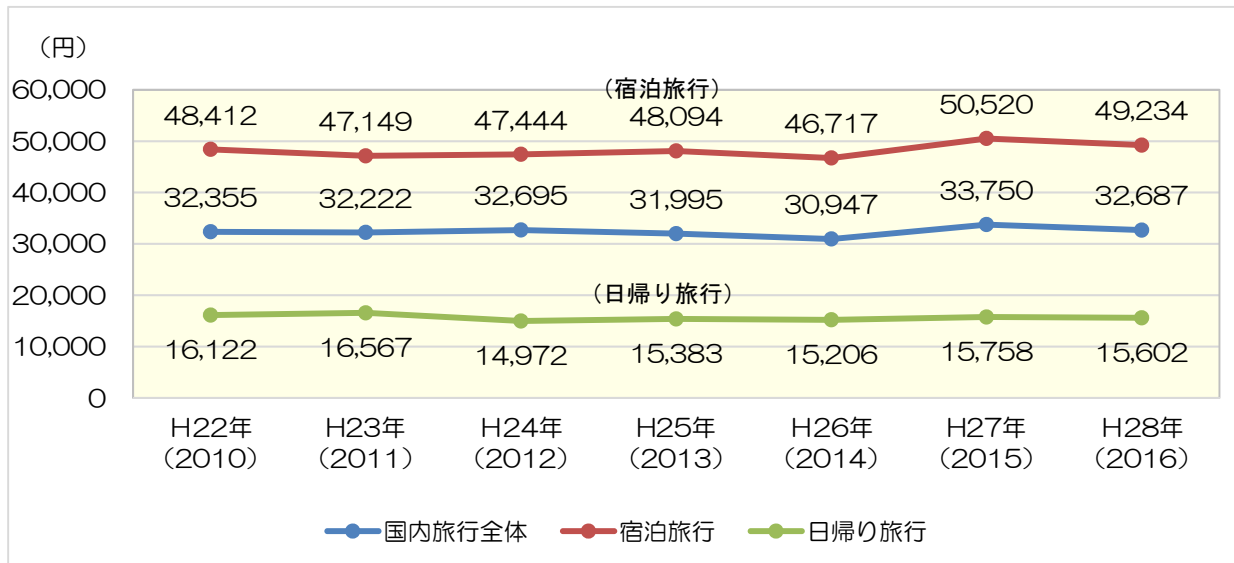


図7. 日本人国内旅行一人一回当たり旅行単価の推移(平成22年～平成28年)

日本国内のホテル・旅館等における延べ宿泊者数は、平成28年(2016年)は4億9,418万人泊、前年比2.0%の減少でした。そのうち、日本人延べ宿泊者数は4億2,330万人泊、前年比で3.5%の減少となりました。その理由としては、平成28年はゴールデンウィーク、シルバーウィークの日並びが悪く、前年と比べ連休の期間が短かったこと等の影響によるものと考えられます。

一方、外国人延べ宿泊者数は7,088万人泊(前年比8.0%増)となり、年々増加傾向となっています。

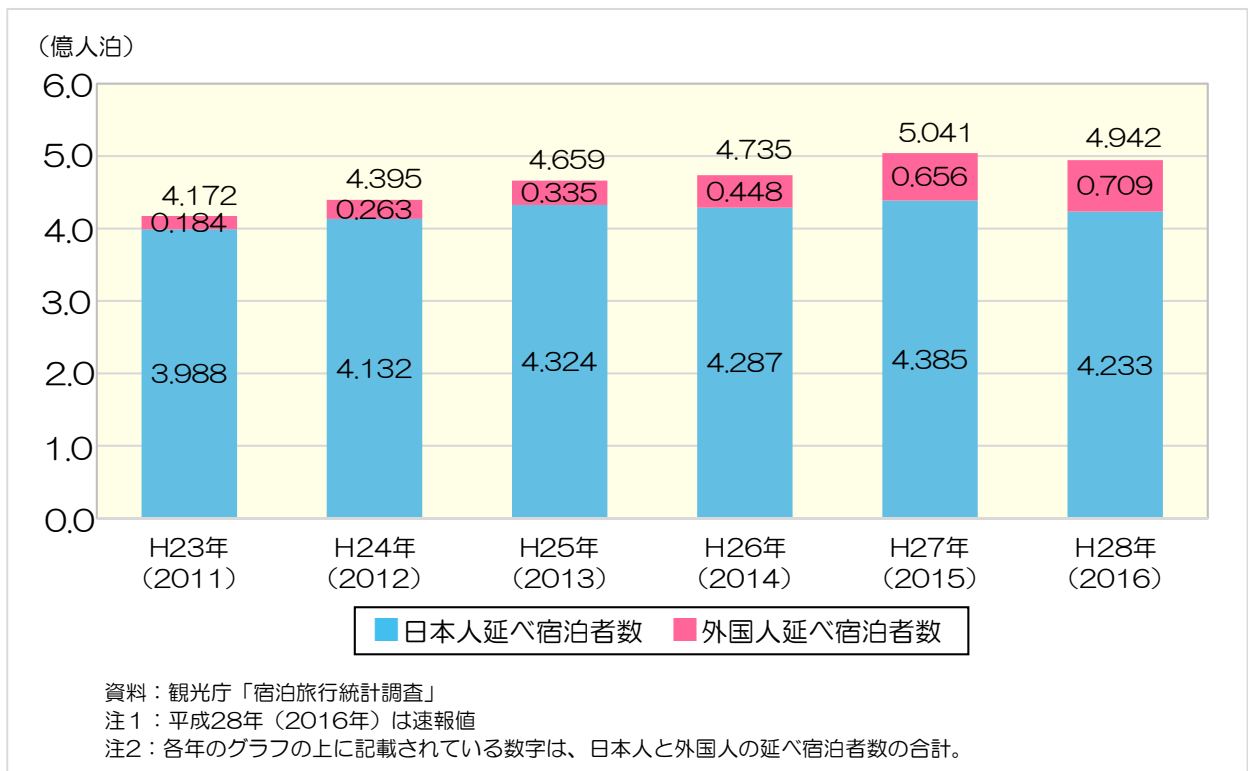


図8. 日本人延べ宿泊者数とインバウンド観光客宿泊者推移(2011年～2016年)

### 3-2-3. 日本国内の旅行消費額

平成 28 年(2016 年)の国内旅行消費額は 25.8 兆円と推定されています。経年の推移を見ると、日本人の国内旅行(宿泊・日帰り)は微増傾向にあるものの、人口減少の傾向を考えれば、今後の拡大は見込めません。一方で、訪日外国人旅行者数は増加しており、日本国内における旅行消費額は増加傾向にあります。

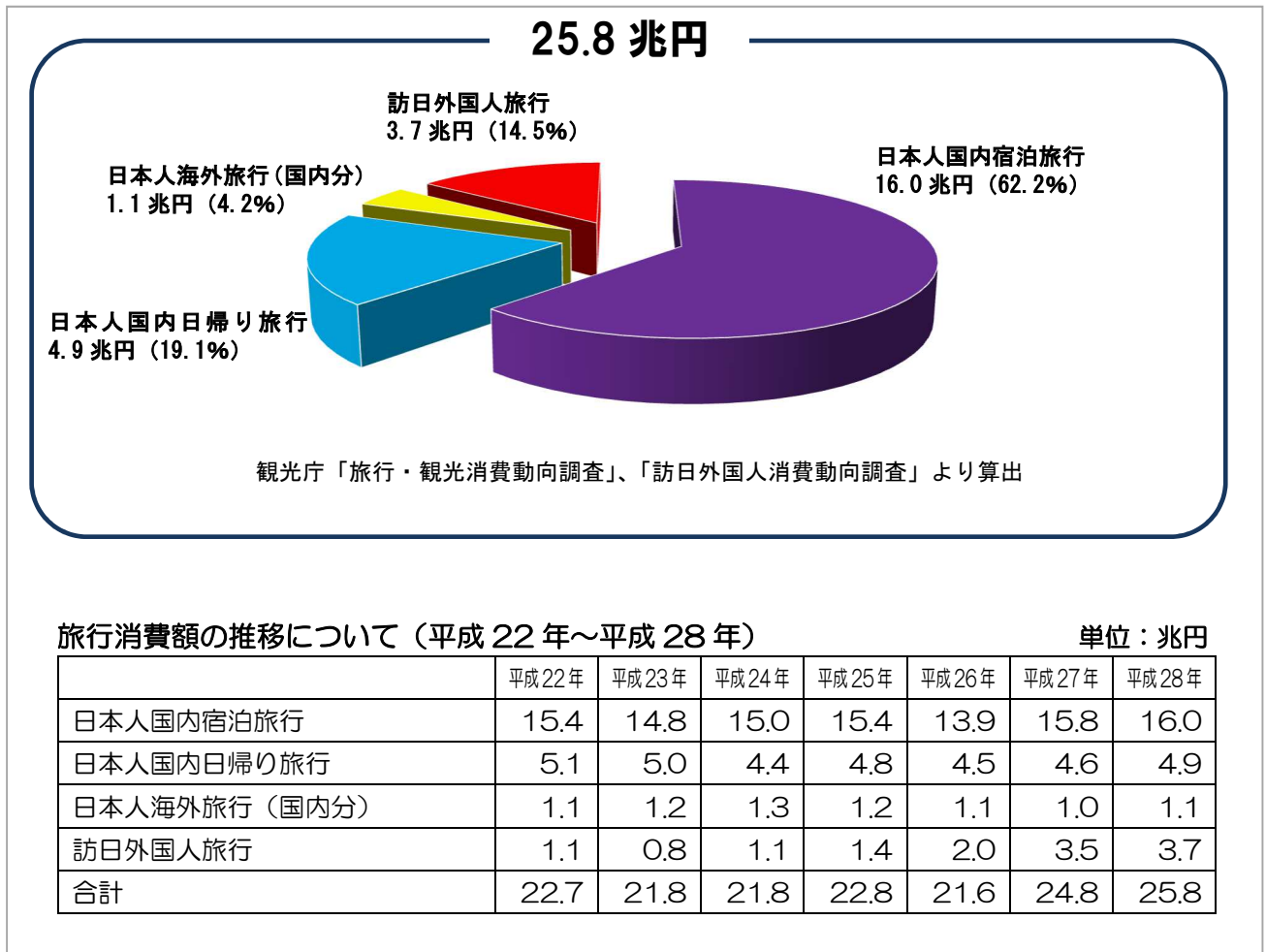


図 9. 観光庁「旅行・観光消費動向調査平成 28 年年間値(確報)」

### 3-3. 四国・愛媛県内の観光動向

#### 3-3-1. 四国の観光動向(主要観光地の動向)

平成28年度(2016年度)における四国の主要観光地(59か所)への観光入込客数の合計は1,396万人となり、3.5%の増加となりました。内訳としては、徳島県が6.3%の増加、香川県が0.7%の増加、愛媛県が6.2%の増加、高知県が1.4%の減少となりました。

施設別では、マイントピア別子が対前年比118.3%増、太龍寺ロープウェイが対前年比48.2%増と大幅な増加となったほか、マイントピア別子、文化の森総合公園、地中美術館、瀬戸大橋記念館は過去最高の入り込みとなりました。

施設からの回答では、増加の要因として、瀬戸内国際芸術祭の開催、逆打ちのお遍路さんの増加、施設のリニューアル、イベントの増加等が挙げられています。また、四国の主要観光地を訪れる外国人の数も32.3%の増加となり、その要因としては、クルーズ船の寄港増、高松空港の海外便の増加と分析しています。

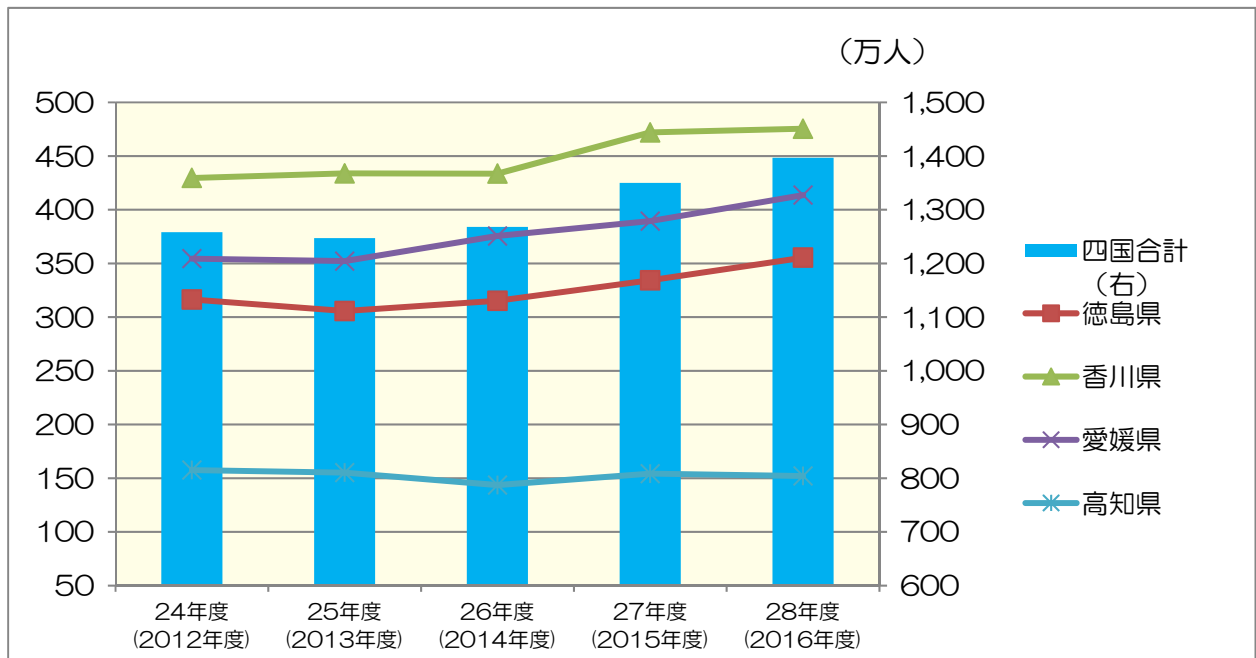


図10. 平成28年度四国内主要観光地入込数推移(平成24年度-平成28年度)

	平成28年度(2016年)		(参考: 24年度)	
1位	松山城ロープウェイリフト	130万人	松山城ロープウェイリフト	98万人
2位	文化の森総合公園	109万人	道後温泉旅館共同組合	80万人
3位	ニューレオマワールド	102万人	ニューレオマワールド	79万人
4位	道後温泉旅館共同組合	94万人	文化の森総合公園	70万人
5位	栗林公園	70万人	さぬきこどもの国	66万人
6位	マイントピア別子	67万人	栗林公園	60万人
7位	さぬきこどもの国	65万人	渦の道	52万人
8位	渦の道	51万人	国営讃岐まんのう公園	44万人
9位	国営讃岐まんのう公園	49万人	あすたむらんど徳島	43万人
10位	あすたむらんど徳島	47万人	マイントピア別子	38万人

図11. 平成28年度四国内施設別入込数ベスト10

出典: 国土交通省四国運輸局「平成28年度四国の主要観光地入込状況について」

### 3-3-2. 四国におけるインバウンド観光客の動向

平成28年(2016年)の四国における外国人延べ宿泊者数は45万人泊となっています。これは全国比の約0.7%となっています。都道府県別外国人宿泊者数ランキングを見ると、香川県が26位にランクインしているものの、四国4県における外国人宿泊者数はまだまだ絶対数が少ないことがわかります。しかし、増加率で見ると、平成28年の四国における外国人宿泊者数は前年に比べ47.2%伸長しており、今後も大きく成長する可能性を持った地域であることがわかります。

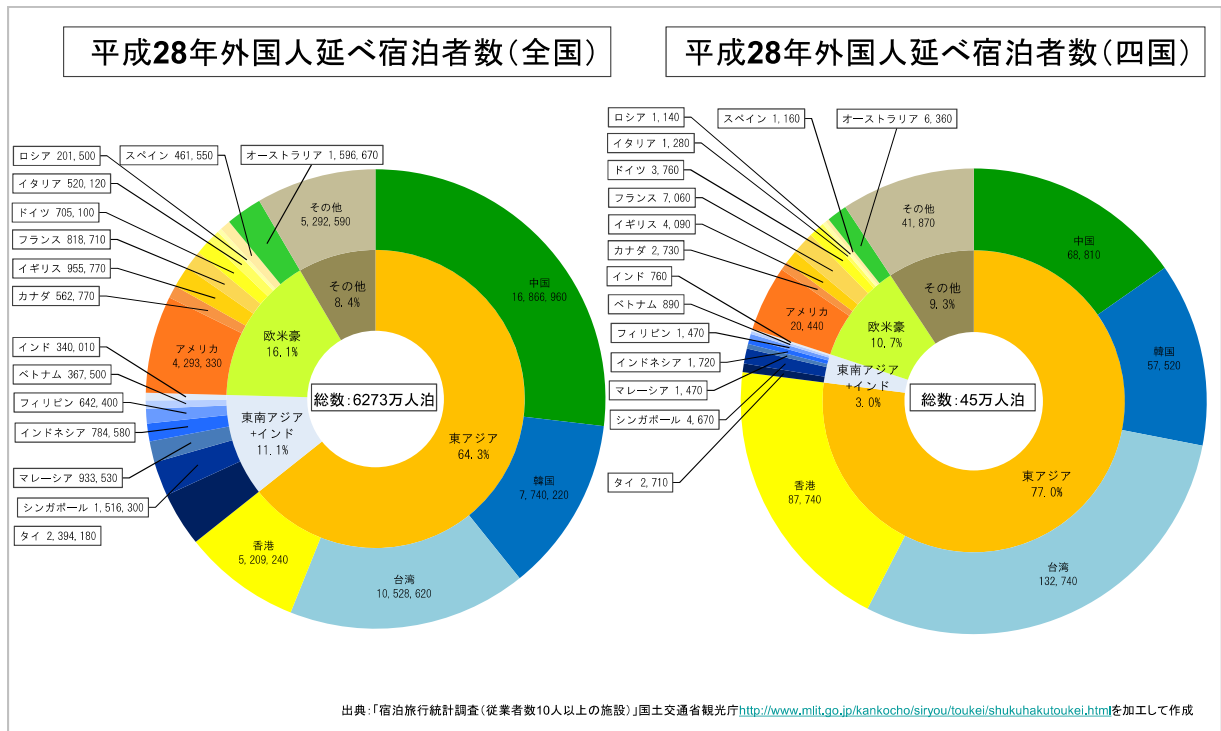


図 12. 平成 28 年外国人延べ宿泊者数(全国・四国比較)

国土交通省四国運輸局「ビジット・ジャパン(VJ)地方連携事業 四国ブロック方針」

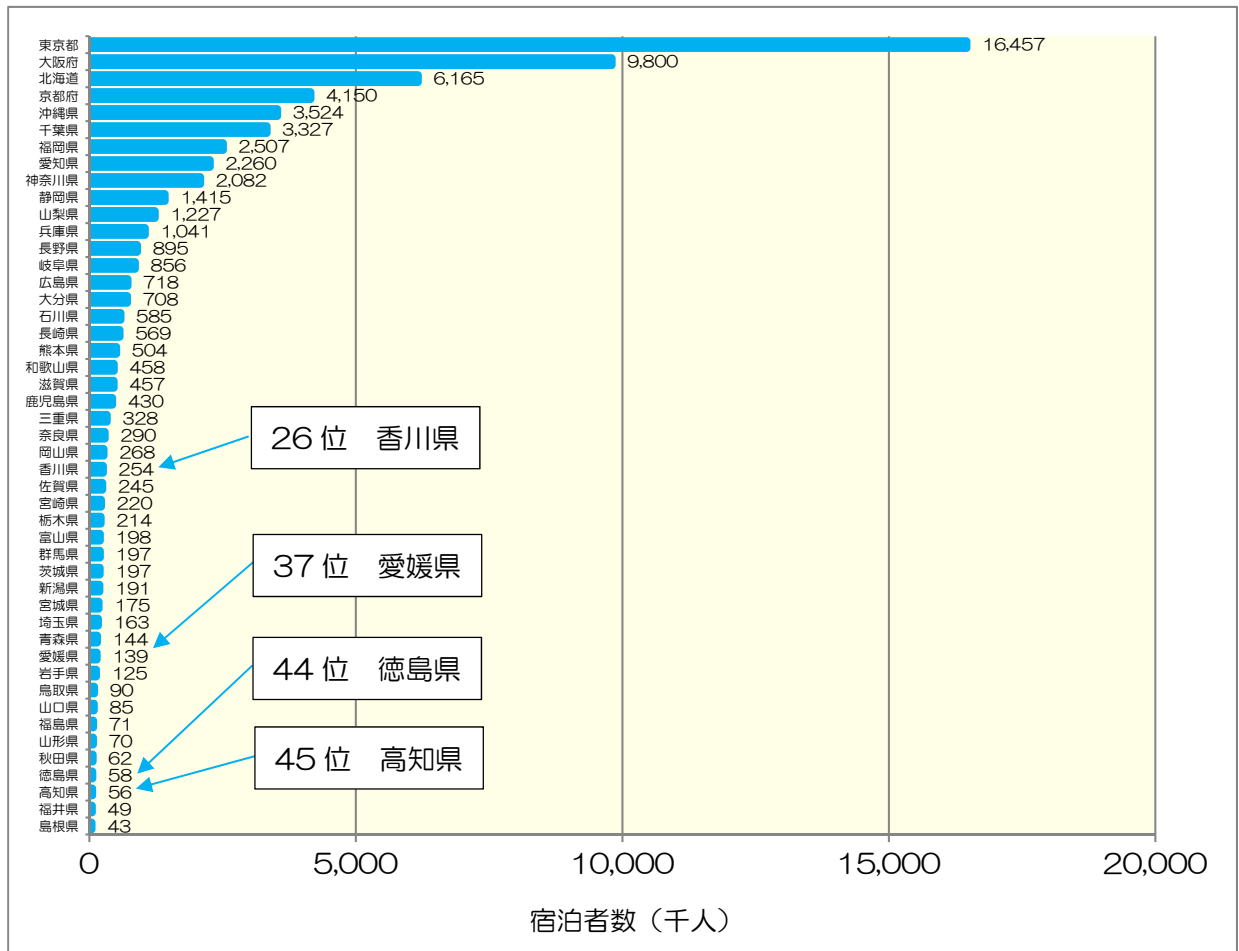


図 13. 都道府県別外国人宿泊者数ランキング

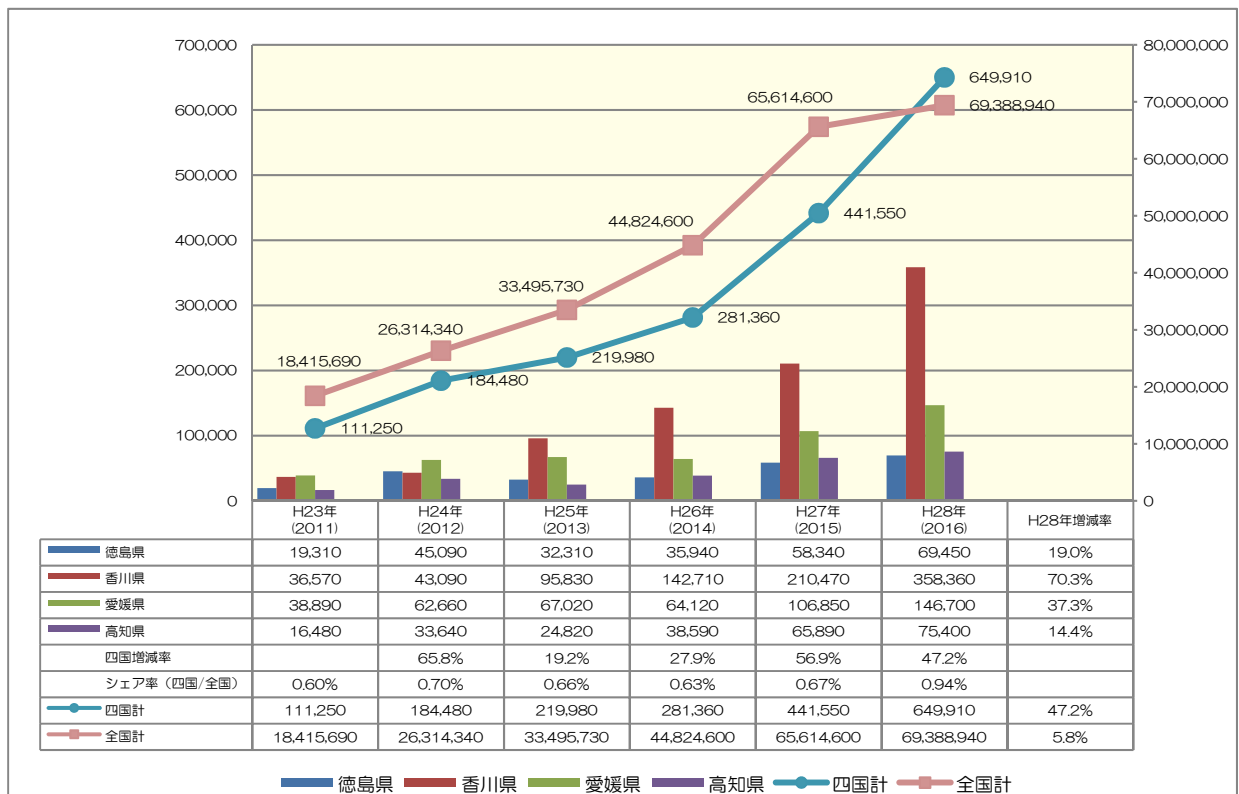


図 14. 四国における外国人延べ宿泊者数推移(県別)



### 3-3-3. 愛媛県の観光動向

愛媛県における平成 28 年(2016 年)の県外及び県内観光客総数は、27,455 千人(延)と推定され、瀬戸内しまなみ海道が開通した平成 11 年(1999 年)を初めて上回った前年の 27,085 千人に比べて 370 千人(延)(1.4%)の増加となっており、2 年連続で過去最高値を更新しました。観光客総数が増加した要因として、「えひめいやしの南予博 2016」の開催(南予 228 千人増)、松山圏域における「道後アート 2016」の開催、今治圏域における「サイクリングしまなみ 2016」の開催、村上海賊の日本遺産認定などが挙げられます。また、愛媛県内の主要観光施設における入込状況の推移を見ると、平成 28 年において、マイントピア別子が大きく入込みを増やしたことがわかります(対前年比 118.3%増)。

観光客消費総額は、1,107 億円と推定され、観光客数の増加により 6 億円(対前年比 0.5%)の増加となっており、瀬戸内しまなみ海道が開通した平成 11 年の 1,238 億円に次いで、過去 2 番目の数字を記録しました。

#### [地域別]

- 東予東部圏域で 105 千人(延)増加
- 松山圏域で 62 千人(延)増加
- 八幡浜・大洲圏域で 202 千人(延)増加
- 宇和島圏域で 26 千人(延)増加
- 今治圏域では 25 千人(延)減少

#### [観光客消費額]

- 観光客消費総額は、1,107 億円と推計で、過去 2 番目の数字。
- 宿泊費で 4 億円、域内交通費 1 億円、その他 2 億円増加
- 土産品購入費は 1 億円の減額。

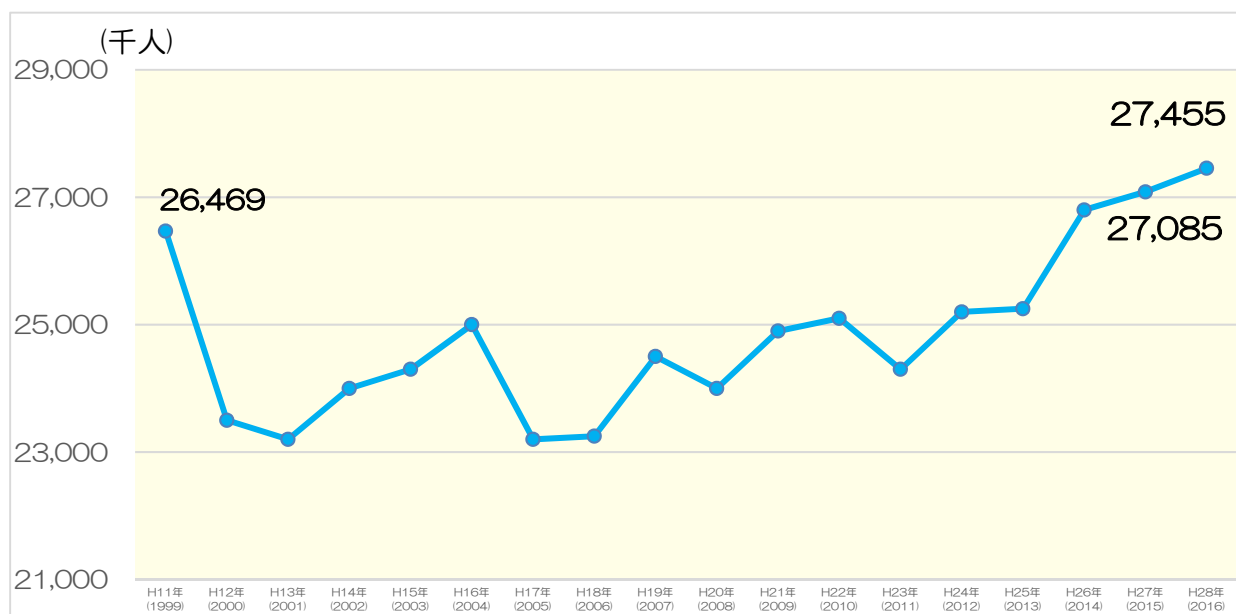


図 15. 愛媛県における観光客総数の推移(平成 11 年-平成 28 年)

愛媛県「平成 28 年観光客数とその消費額」

施設名	単位	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	前年同期比	ピーク時	
道後温泉旅館共同組合・宿泊者：松山市	人	807,259	825,771	912,084	939,795	942,706	100.3%	S63	1,493,038
とべ動物園：砥部町	人	520,546	492,663	490,087	540,360	451,761	83.6%	S63	1,113,749
松山城ロープウェイ・リフト(上・下)：松山市	人	989,232	1,031,926	1,100,863	1,282,179	1,305,838	101.8%	S63	1,941,000
子規記念博物館：松山市	人	120,561	102,512	101,678	110,285	103,742	94.1%	H3	187,867
伊予かずり会館：松山市	人	84,827	64,837	65,314	48,324	49,384	102.2%	S63	549,950
坂の上ミュージアム：松山市	人	131,015	122,630	123,915	127,479	123,240	96.7%	H22	211,842
しまなみ街道レンタルサイクル：今治市	人	32,710	32,935	44,493	52,942	47,950	90.6%	H27	52,942
村上三島記念館：今治市	人	4,371	3,062	3,981	2,631	2,177	82.7%	H11	58,970
大三島美術館：今治市	人	35,389	32,941	37,267	31,355	28,591	91.2%	H24	35,389
村上水軍博物館：今治市	人	45,467	44,770	92,452	78,697	77,351	98.3%	H26	92,451
マイントピア別子：新居浜市	人	383,343	442,619	431,010	311,080	679,005	218.3%	H28	679,005
愛媛県総合科学博物館：新居浜市	人	245,607	213,887	241,985	245,698	206,891	84.2%	H7	359,915
内子座：内子町	人	31,031	30,372	29,999	34,080	35,130	103.1%	H16	88,342
伊達博物館：宇和島市	人	35,840	13,120	15,236	23,284	16,783	72.1%	H62	47,573
南楽園：宇和島市	人	77,682	67,885	65,170	65,966	66,205	100.4%	H62	220,334
		3,544,880	3,521,930	3,755,534	3,894,155	4,136,754	106.2%		

図 16. 愛媛県における観光客地別入状況(平成 24 年度-平成 28 年度)

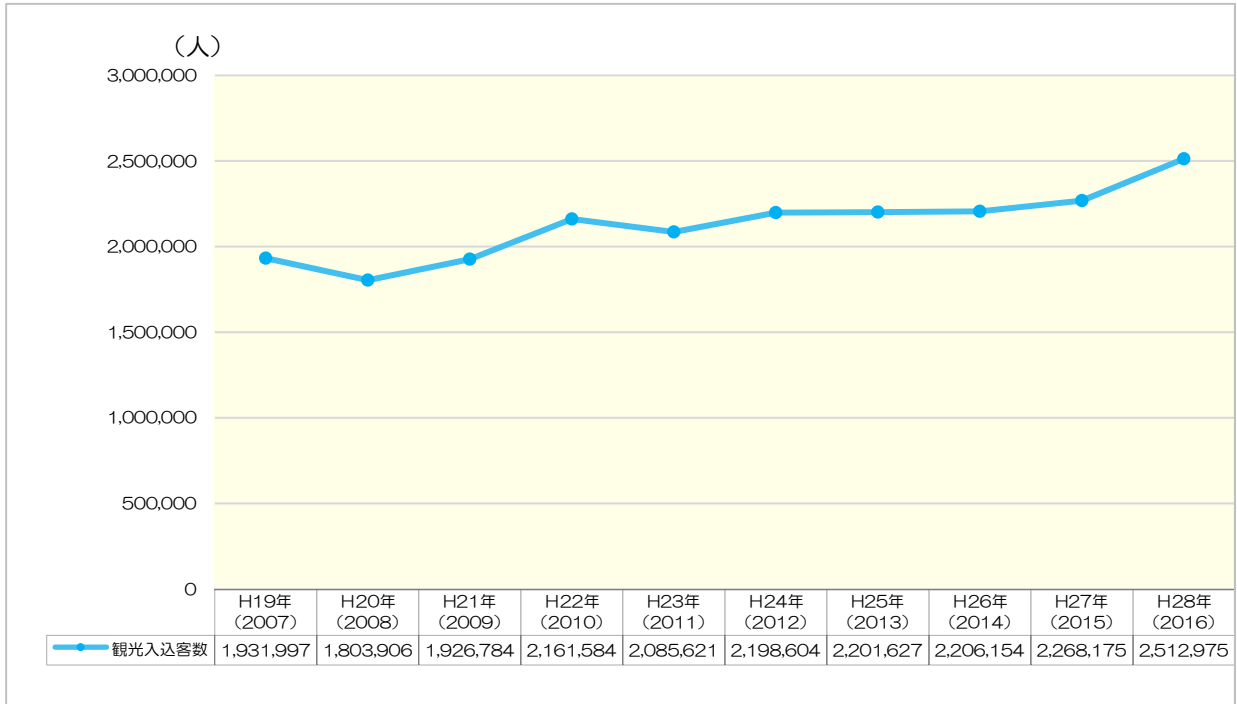
愛媛県「平成 28 年観光客数とその消費額」

### 3-4. 新居浜市の観光動向

#### 3-4-1. 新居浜市観光統計

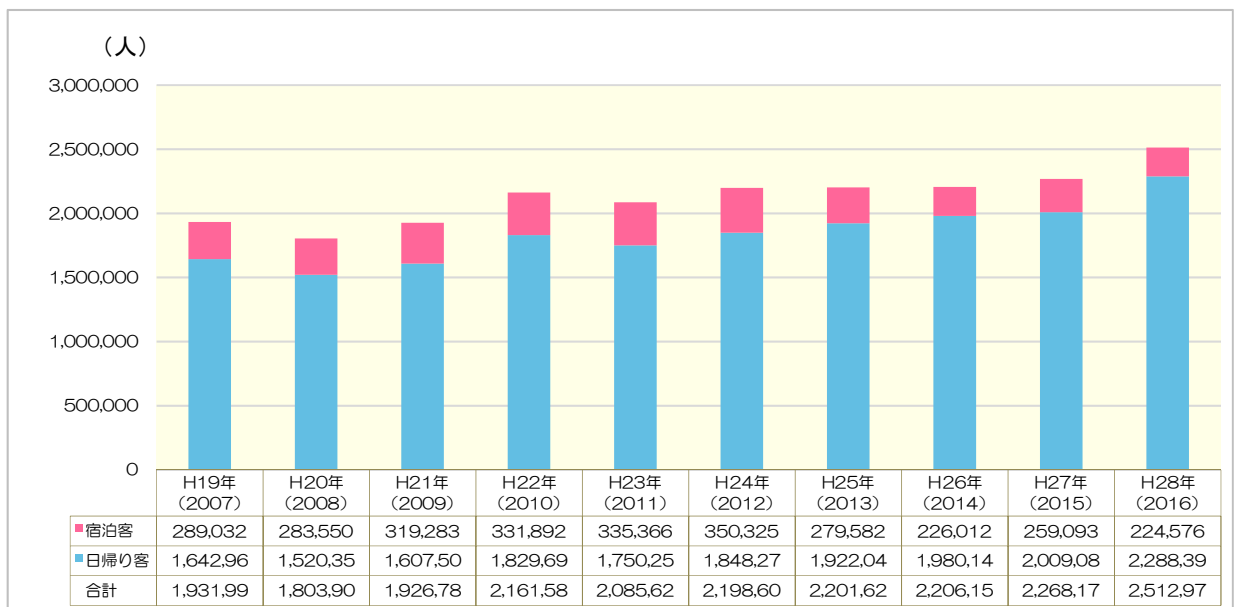
##### (1). 新居浜市における観光入込客数の推移

新居浜市における観光入込客数は着実に増加している傾向が見られます。



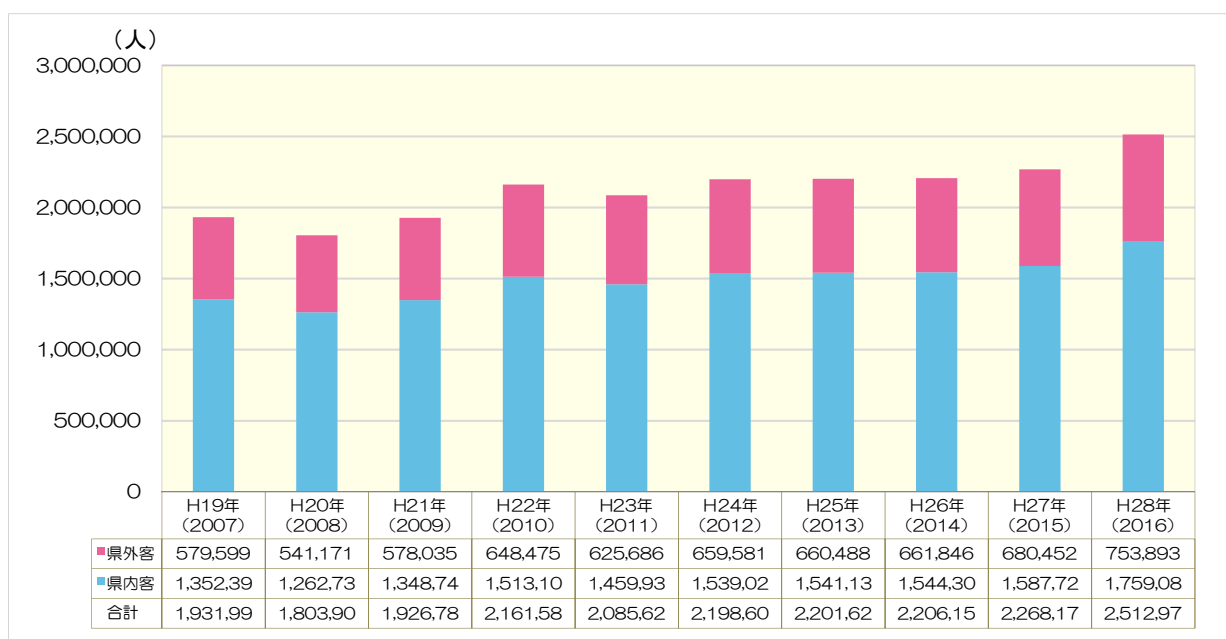
##### (2). 新居浜市における観光入込客数の推移(宿泊・日帰り別)

10年間を通して、日帰り客が多数を占める傾向が見られます。これは、新居浜市内に観光需要を充足する宿泊施設が不足していること、また愛媛県松山市や香川県高松市など四国における定番の宿泊地からのアクセスの良さが影響していることが推察されます。



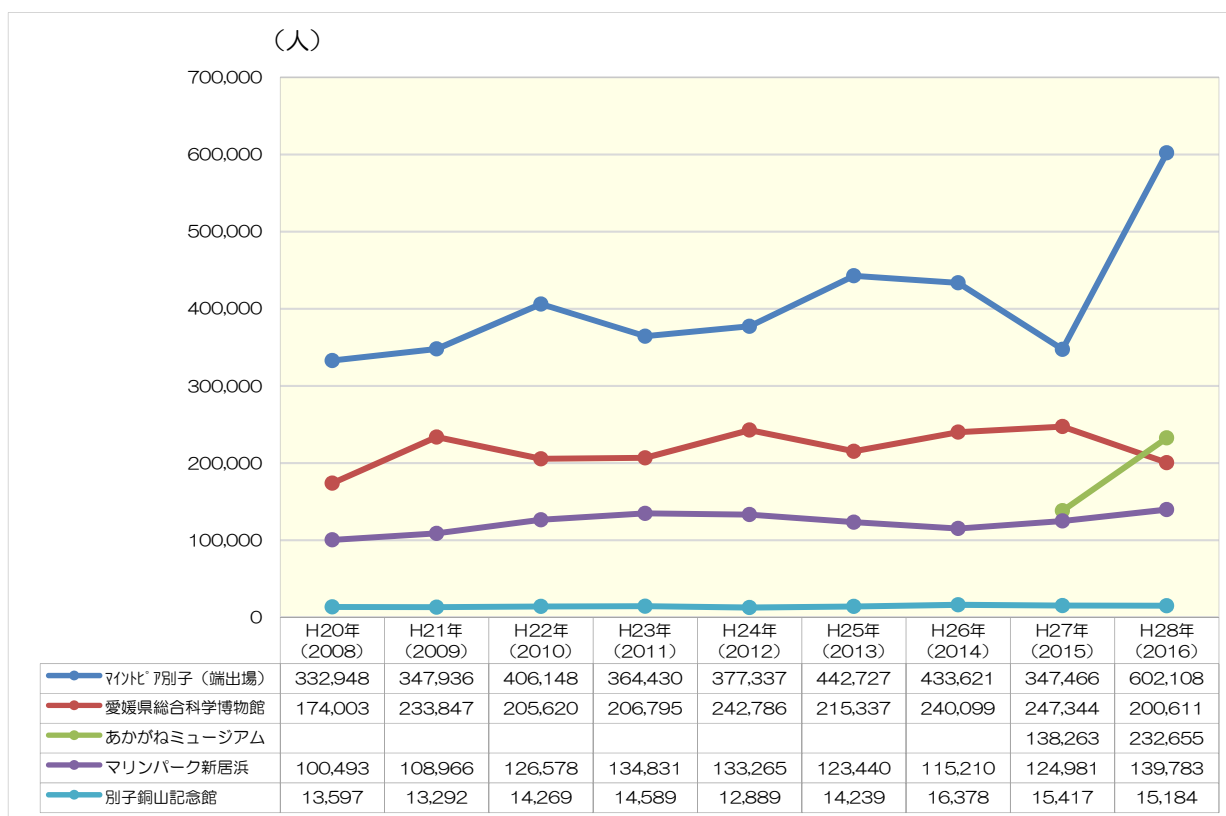
### (3). 新居浜市における観光入込客数の推移(県内客・県外客別)

10年間を通して、県内客の構成比が高い傾向が見られます。これは、新居浜市観光市場における愛媛県内からの需要の重要性を示しています。



### (4). 観光施設別観光入込客数の推移

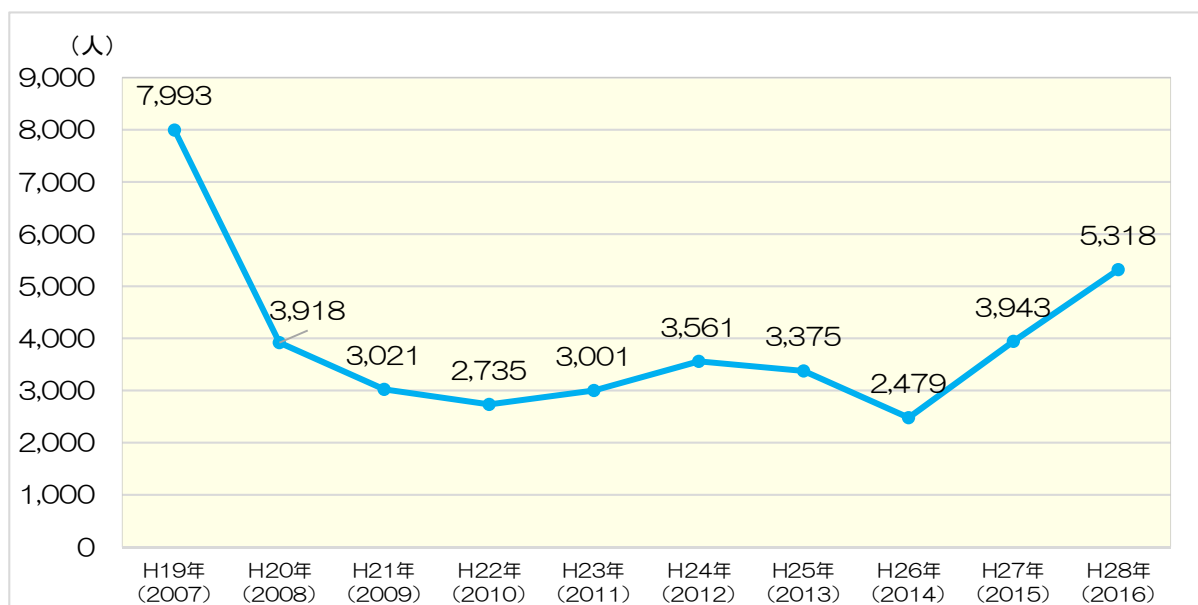
平成28年(2016年)には「マイントピア別子」が大きく入込客数を伸ばしました。これは「別子温泉～天空の湯～」、「あかがねキッズパーク」という2つの施設のリニューアルによる効果と考えられます。



## (5). 外国人観光客数の推移

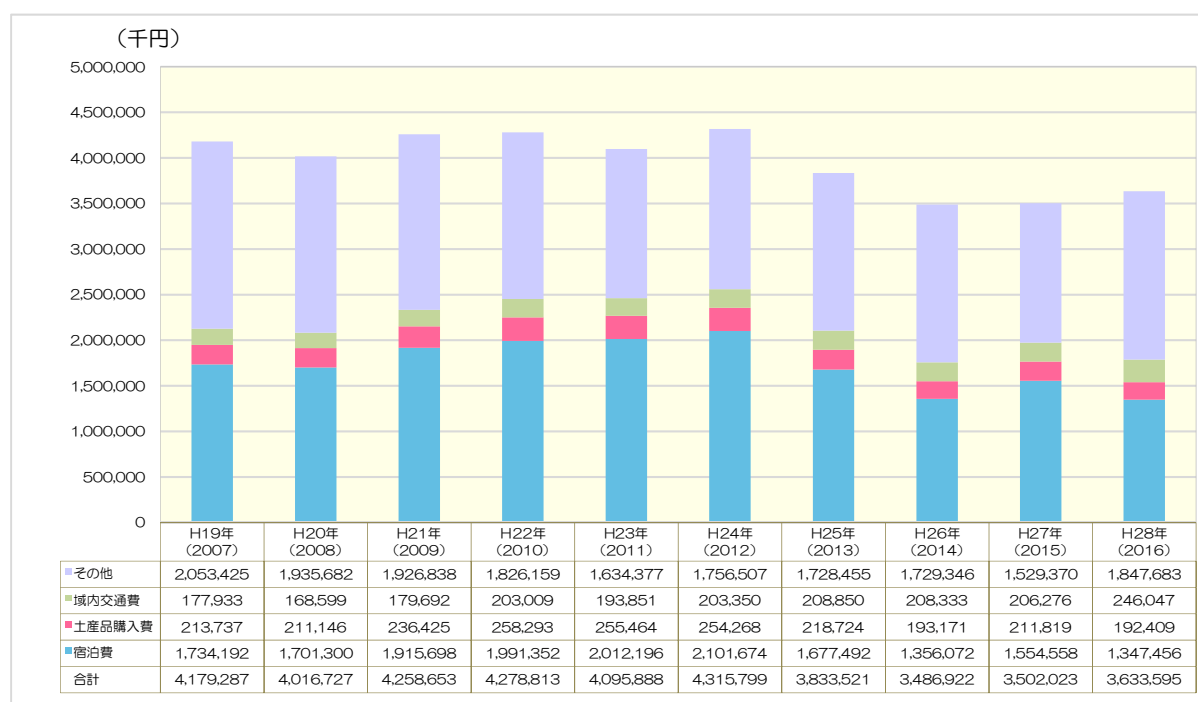
新居浜市における外国人観光客は、通常の観光客と、ビジネス関連客に大別されます。10年間の推移の特徴として、平成19年(2007年)の数値の高さは、地域周辺における開発等により、外国人ビジネス関連客が長期間滞在したという要因があります。

また、平成26年(2014年)以降は、四国における外国人観光客の伸長と連動する形で数字を伸ばしています。



## (6). 観光消費額

観光消費額は、単価の高い宿泊費に影響を受け推移している傾向が見られます。また、新居浜市における宿泊施設の多くがビジネスホテルであり、いわゆるシティ・リゾート型ホテルや旅館が少ないことから、この宿泊費はビジネス関連客の宿泊の動向に影響を受けていることが推察されます。



### 3-4-2. 新居浜市観光客アンケート調査

本計画を策定するにあたり、市内の主要観光施設 2 地点(マイントピア別子・愛媛県総合科学博物館)において、アンケート用紙の配布、回収によるアンケート調査を実施しました。

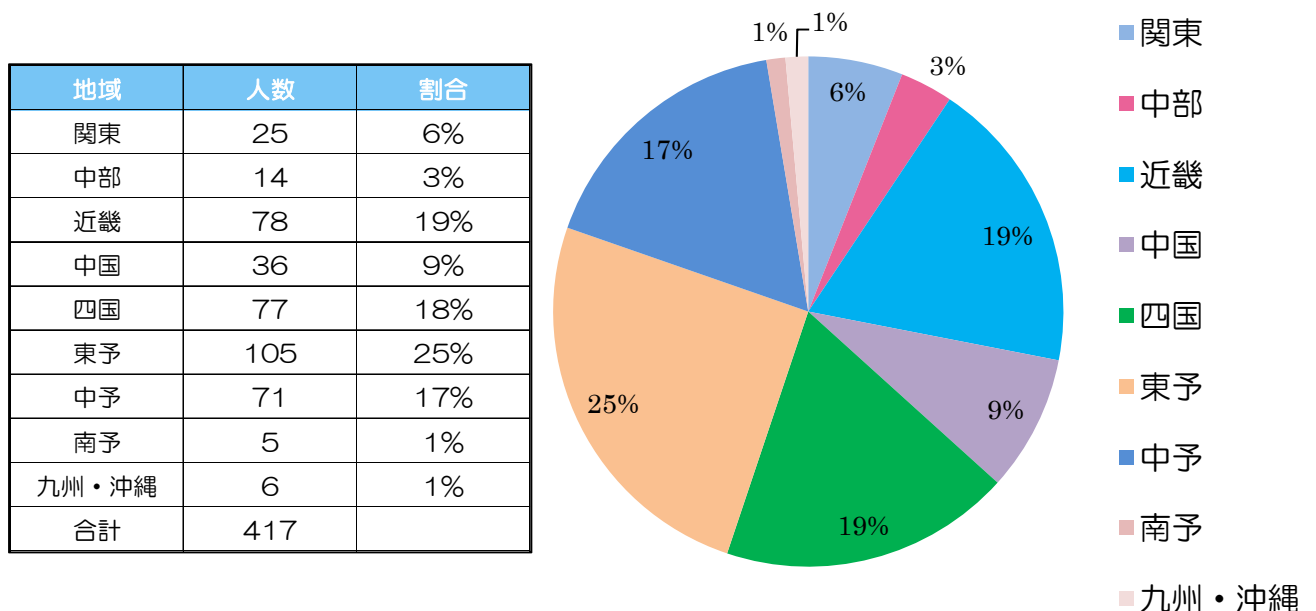
#### 調査概要

##### 実施日

- ・マイントピア別子：平成29年9月/平成30年3月 サンプル数件 209 件
- ・愛媛県立総合科学博物館：平成29年9月/平成30年1月 サンプル数 208 件

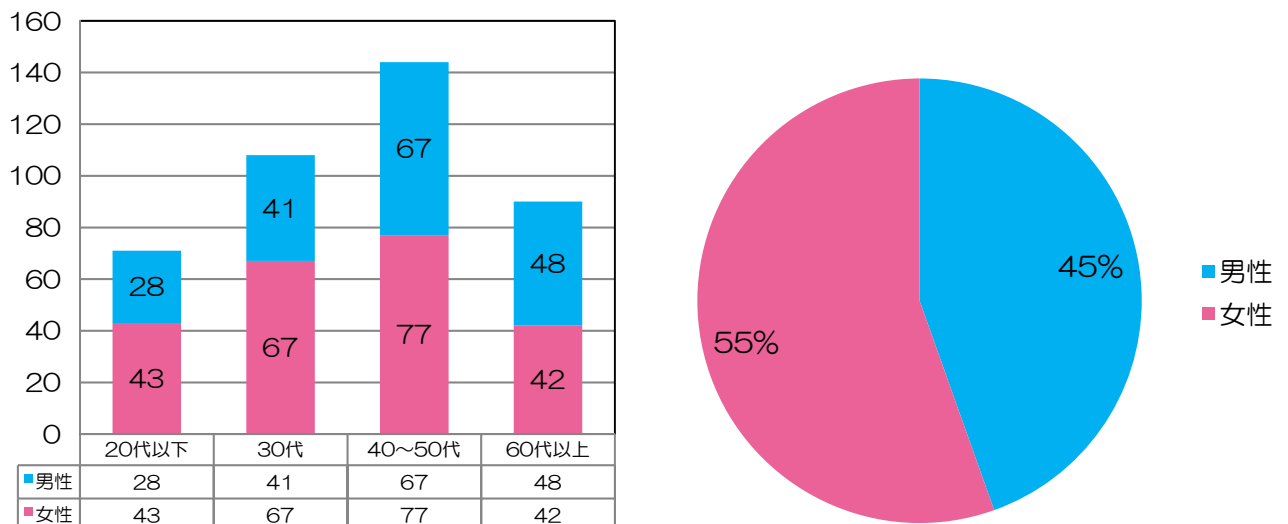
#### ①都道府県別観光客数（母数=417）

愛媛県(東予・中予・南予)からの観光客数が最も多いことがわかります。



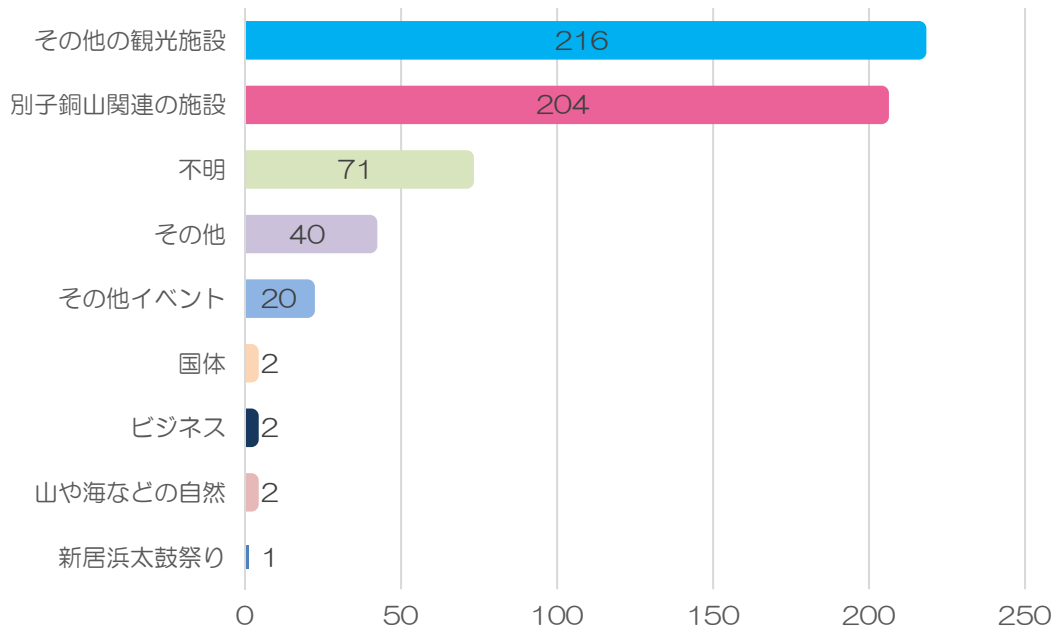
#### ②性別、年代別観光客数（母数=413）

40代・50代の男性が最も多いことがわかります。全体を見ると女性の比率が高いことがわかります。



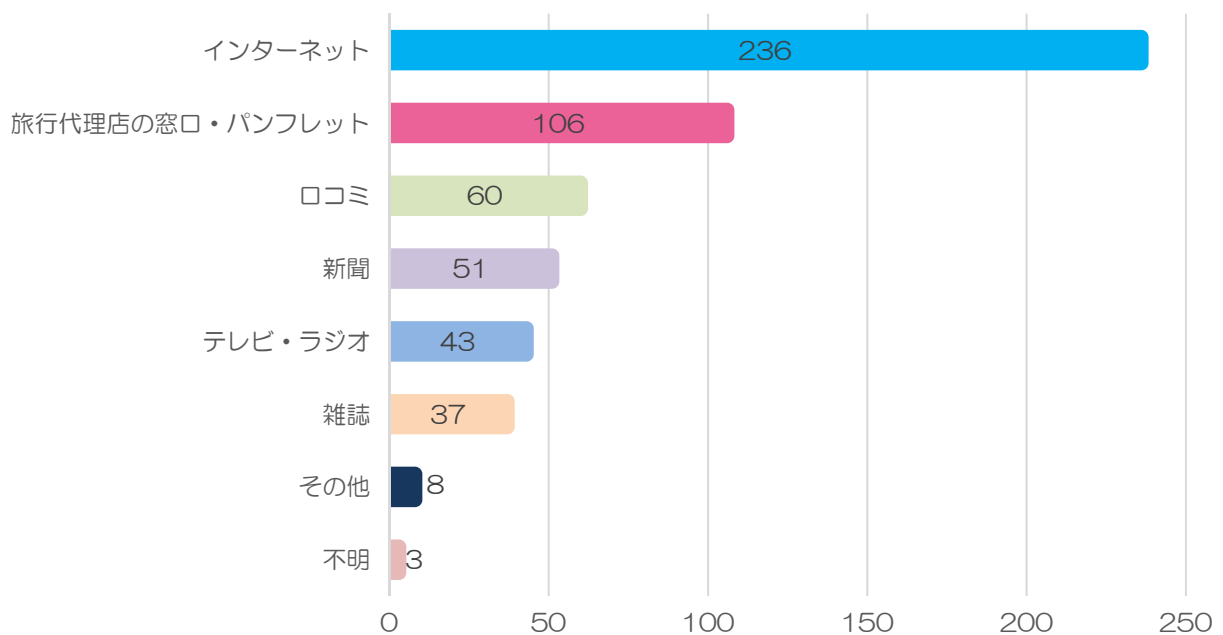
### ③観光の目的(母数=417) 複数選択

観光の目的は、「その他観光施設」が最も多く、次いで「別子銅山関連の施設」となっています。「その他観光施設」は、アンケート実施場所である愛媛県総合科学博物館を示しています。



### ④観光のきっかけ(母数=417) 複数選択

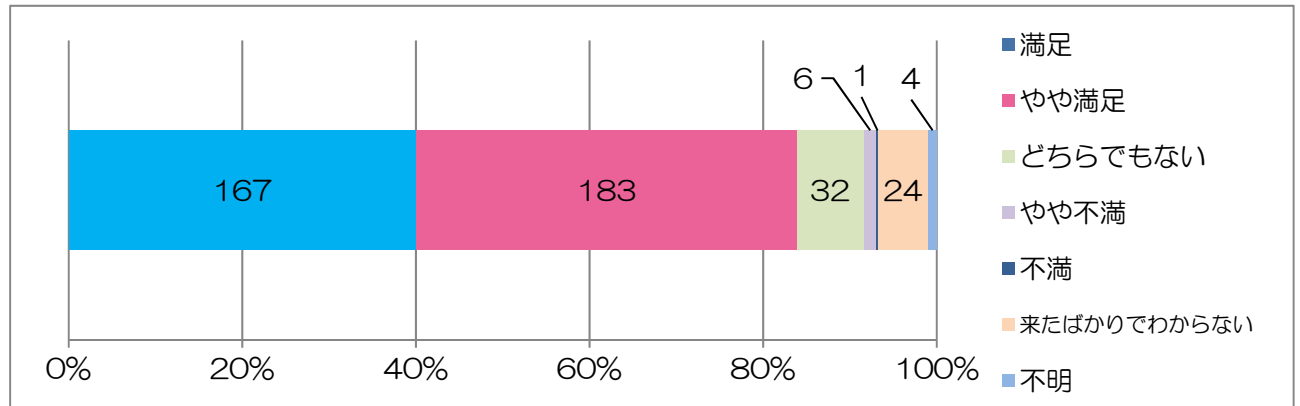
観光のきっかけは「インターネット」が最も多く、次いで「口コミ」であり、インターネットにおける情報検索が一般化した現代においても、「口コミ」の重要性がうかがえます。また、「雑誌」「旅行代理店の窓口・パンフレット」の比率も高いことが特徴として見られます。



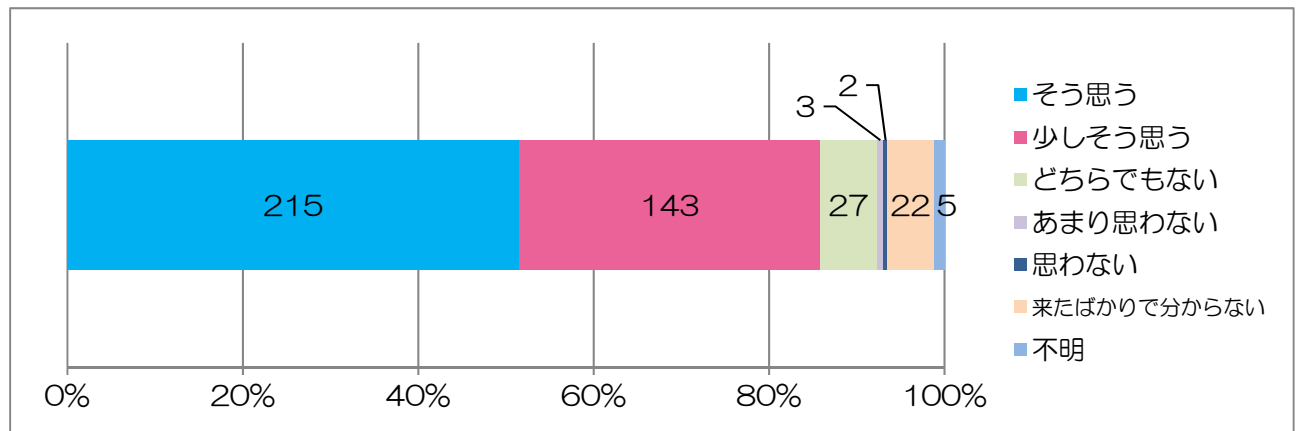
### ⑤新居浜市観光の満足度、紹介意向、再来訪意向

80%近い観光客が、新居浜市の観光に対し肯定的な意見(満足・やや満足)を示しており、評価の高さがうかがえます。また、「紹介意向」、「再来訪意向」ともに肯定的な意見(そう思う・少しそう思う)が90%と高いことから、口コミによる新規誘客、リピーターを生むサイクルが確認できますが、あくまで意向であり、実際の新規観光客の誘客やリピーターの創出に繋がっているかは検証を要します。

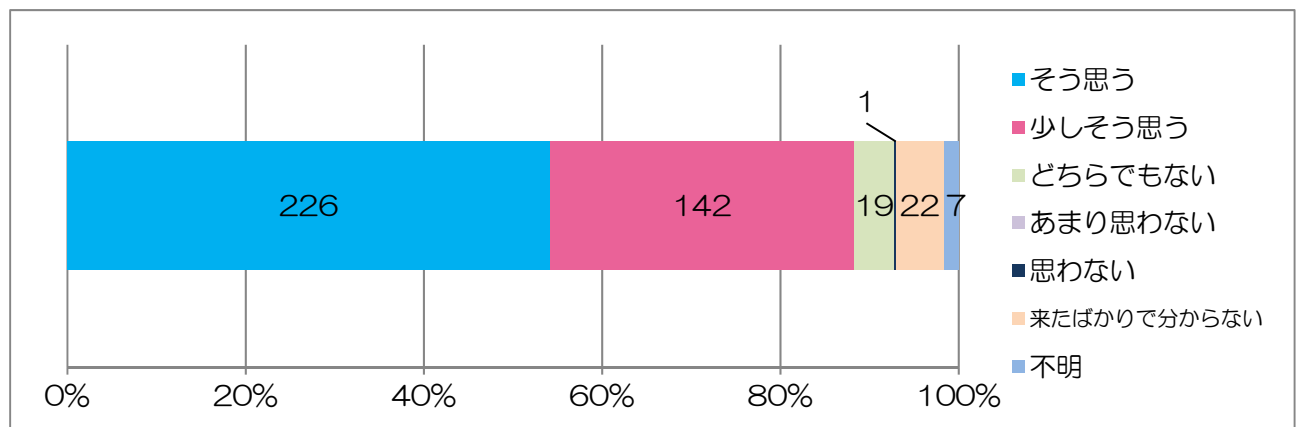
#### 新居浜市観光全体の満足度（母数=417）



#### 紹介意向（母数=417）



#### 再来訪意向（母数=417）

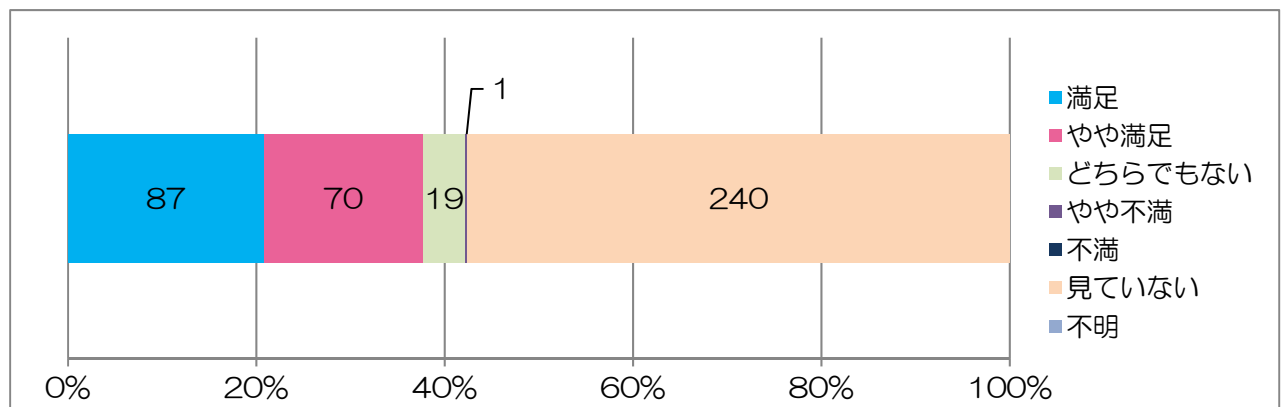




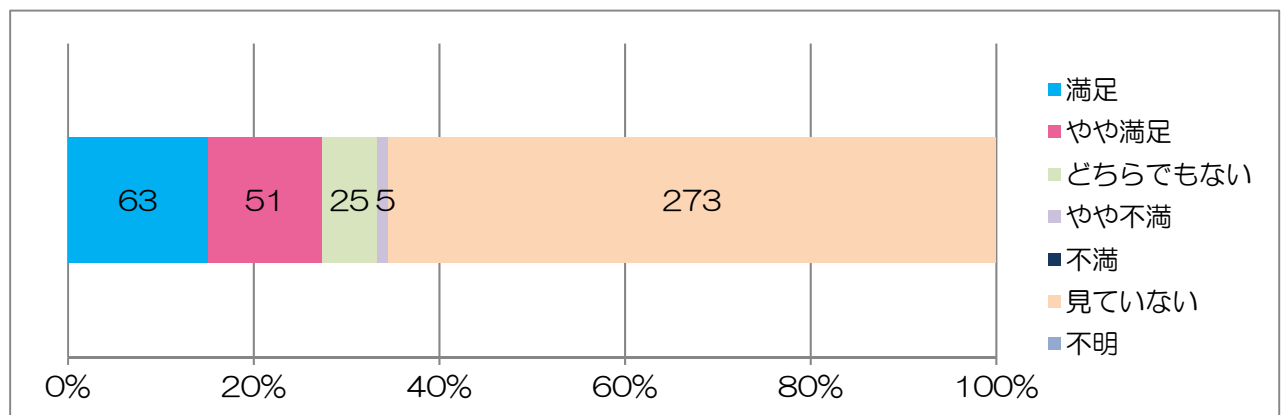
## ◎新居浜市観光の満足度(項目別)

総合的に新居浜市観光の「満足度」、「紹介意向」、「再来訪意向」は高かったものの、項目別の満足度を見ると新居浜市観光の課題が明らかになります。例えば、「自然景観や雰囲気への満足度」、「街並みや雰囲気への満足度」からは、多くの人が新居浜市内の自然や、街並みなどを見ていないことがわかります。「宿泊」からは、ほとんどの観光客が市内に宿泊しないことがわかります。また「飲食施設の食事の内容」「物販施設の商品の内容」からは、多くの観光客が、観光において重要な消費行動の場である飲食施設、物販施設に行っていない傾向が見られます。

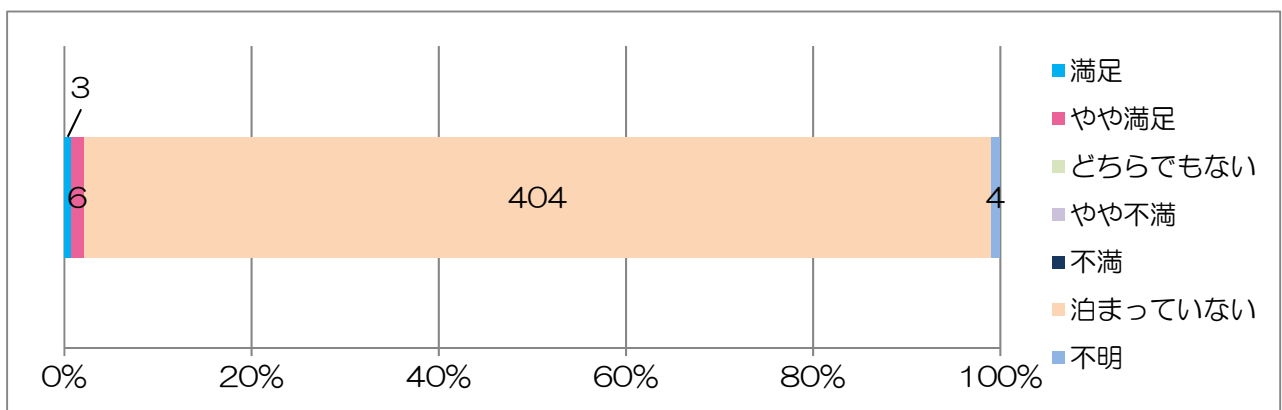
### 自然景観や雰囲気への満足度（母数=417）



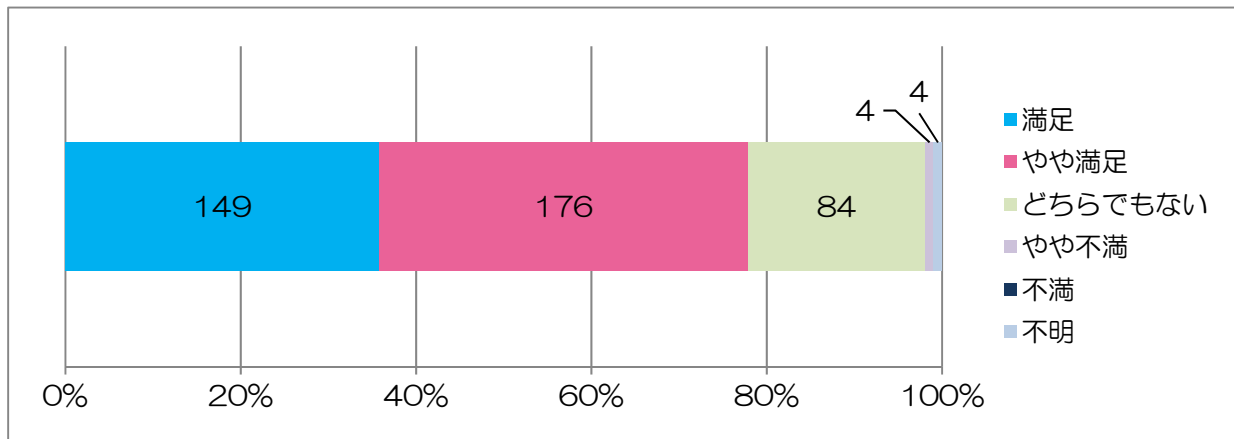
### 街並みや雰囲気への満足度（母数=417）



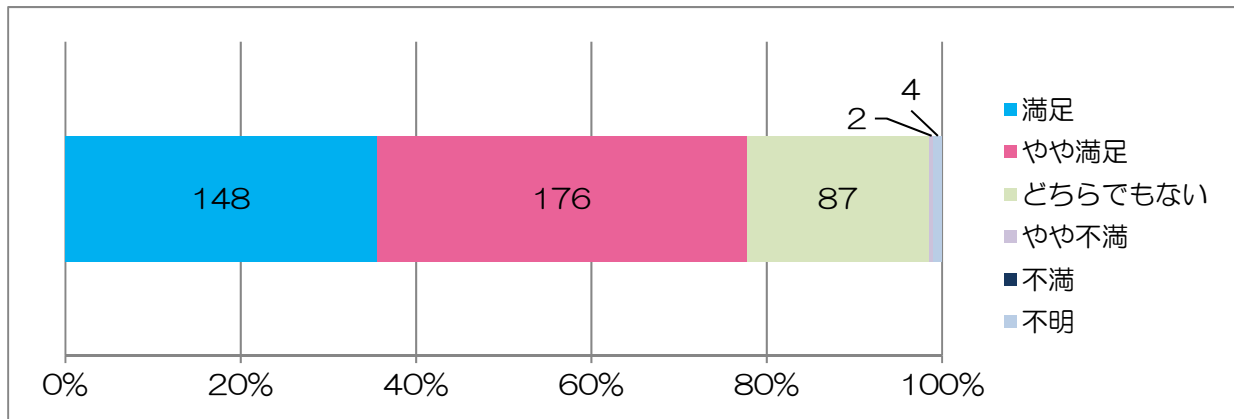
### 宿泊（母数=417）



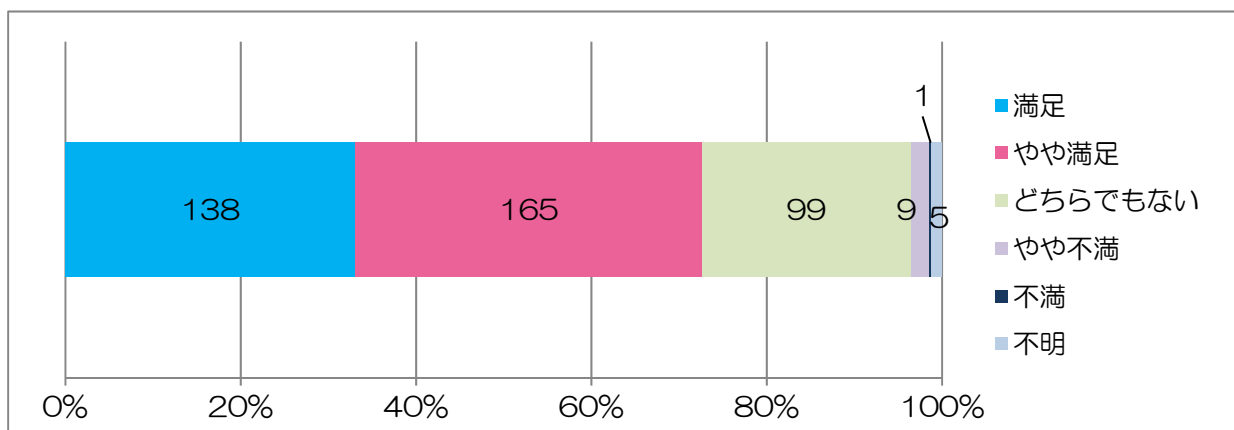
観光文化施設の内容・体験への満足度（母数=417）



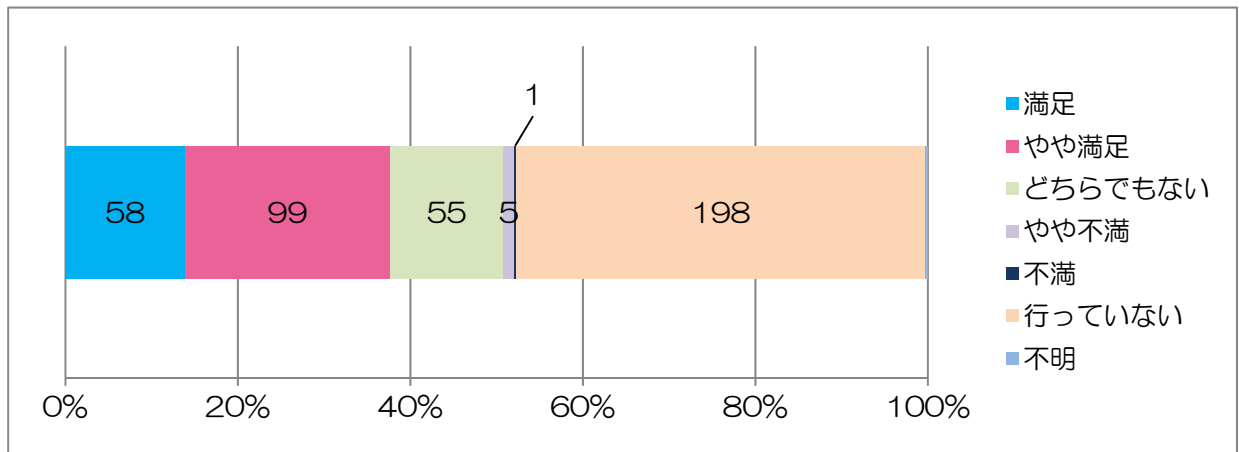
観光文化施設の従業員のおもてなしへの満足度（母数=417）



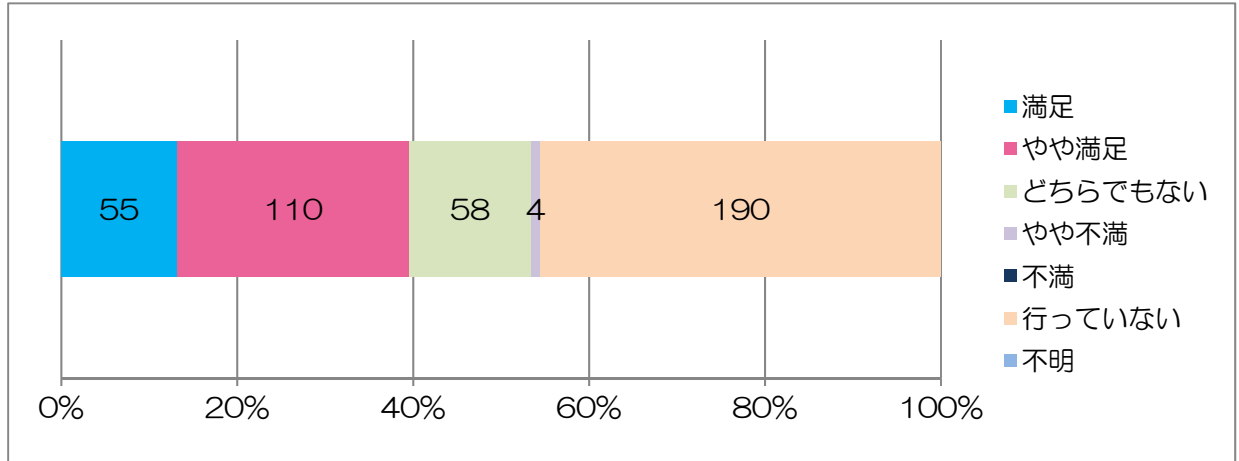
観光文化施設の費用の適切さ（母数=417）



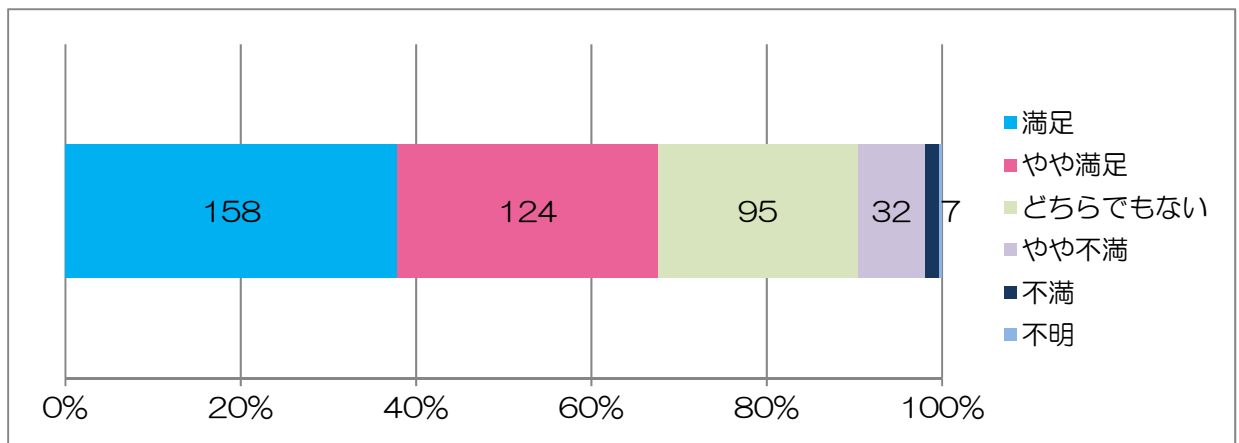
飲食施設の食事の内容（母数=417）



物販施設の商品の内容（母数=417）



地域における交通の便（母数=417）



## 参考資料. 新居浜市観光客ヒアリング調査

アンケートによる定量調査だけでは把握できない、定性的な観光客の傾向を探るために、マイントピア別子を訪れている観光客、及び東平歴史資料館を訪れている観光客を対象に、調査員の対面によるヒアリング調査を行いました。以下では、そのヒアリング調査結果の一部を掲載しています。

### 「マイントピア別子」

**対象：**50代・夫婦・2名

滋賀県・宿泊(松山市)・自家用車

**新居浜訪問経験：**初めて

**来訪動機・きっかけ：**初めての愛媛県旅行の下調べの時にガイドブックでマイントピア別子や東平が載っているのを見て、さらにインターネットで調べて主人が行きたいと言ったので「マイントピア別子」に来ることになった。

**施設への感想：**時間の問題で端出場ゾーンは見えていない。これから東平に行く予定である。この施設に関しては少し見て回っただけだが気軽に入れるし、車も止められたし満足している。また、お土産はマイントピア別子では買っていない。ここが旅の最終地点ではないのがその理由であるが、ここでしか買えないお土産というのが良くわからなかった。限定などのポップをつけて欲しい。銅製品なんかも百貨店で買ってしまう。

また、マイントピアで食事はしていない。この施設は団体だと良いかもしれないが、2人で寄るには長居するところではないと感じた。新居浜市全体としては自然の景色などは特に良いと感じた。

**対象：**40代・男性・1名

香川県・宿泊(松山市)・自家用車

**新居浜訪問経験：**出張で5回ほど来ているが、観光では初めて。

**来訪動機・きっかけ：**別子銅山関連の施設を見に来た。住友グループの発祥の地だと聞いていたので興味が沸いた。

**施設への感想：**色々あって良い施設だと思う。まだ何も買っていないが、後で別子銅山関係の書籍を購入する予定である。端出場ゾーンは、東平に行くバスの時間の関係で行っていない。また、食事に関してだが、「道の駅 自慢の一品ララー」に記載があったので「いよかんソフト」を買おうと思っている。施設のインフォメーションが施設の入り口当たりにあると良い。さらに、そこで新居浜市内の観光情報なども扱っていると良いのではないか。これから東平と別子銅山記念館に行く予定である。

**対象：**50代・男性・1名(団体客)

愛媛県(東温市)・宿泊(松山市)・観光バス

**新居浜訪問経験：**子どもと総合博物館に8回くらい。マイントピア別子は3回目くらい。

**来訪動機・きっかけ：**職場のツアーで来た。

**施設への感想：**東平には今回初めて行った。ガイドが付いて色々説明していただいたのは良かった。逆にガイドがいないと全然楽しめなかったと思う。私は、ツアーで来ているので時間的に勝手ができないが、個人で来て時間があれば色々楽しめる施設だと感じた。特に2階にいたボランティアガイドは、この地域の歴史のことを沢山説明してくれて素晴らしかった。

お土産としてお酒と別子飴、アメジスト、饅頭を購入した。ただ、新居浜市観光と言えばこれだというお土産品が見当たらなかった。新居浜は銅山の街というイメージが強く、1次産業のイメージが無い。次は、特に紅葉の時期などに訪れたい。

**対象：**50代・男性・1名

徳島県・宿泊(新居浜市)・自家用車

**新居浜訪問経験：**初めて

**来訪動機・きっかけ：**別子銅山関連の施設が気になって来た。元々仕事が住友企業関連で、話には聞いていた。

**施設への感想：**今、東平へのバスを待っている。端出場ゾーンは観光坑道がとても良かった。展示も良いと感じた。費用は少し安ければ良いかなと思うが、学べる内容が多いので満足である。また、今日は駅からバスできたが、本数が少なく苦労した。事前にHPなどで調べても公共交通の情報や、東平まで行くのも、こういった予約が必要なのかよくわからなかった。この後、別子銅山記念館や広瀬歴史記念館なども行こうと考えていたが、交通の便が悪く断念した。この後は今治へ行く予定である。また、観光案内パンフレットなどには詳細な情報が載っているが、具体的に散策する場合の時間やアクセスについて載っていないのが残念である。

### 「東平歴史資料館」

**対象：**50代・男性・1名

岡山県・宿泊(新居浜市)・自家用車

**新居浜訪問経験：**4回目(東平2回目)

**来訪動機・きっかけ：**歌手・声優の水樹奈々氏のファンであることが新居浜市来訪のきっかけである。新居浜市は自然も美しいが、それを知ったのも新居浜市が水樹奈々氏の出身地であるから。

**施設への感想：**新居浜市観光について意見を言えば、観光サイトが非常に分かりづらい。東平に行くにしても、その奥に行くにしても、例えば何分かかるとか、山であるならばどのような服装がいいとか、丁寧な説明が必要だと思う。観光という点で言えば、駅からの交通の便を良くするべき。ルートバスなどの拡充が必要。また、おみやげ品に関してだが、マイントピアで石や銅関係のものを販売しているのは良いと思うが、「新居浜まちゅり」などのキャラクター商品がもっとあっても良いのではないかな。

**対象：**20代・男女グループ(男性1名・女性2名)

三重県・宿泊(西条市)・レンタカー

**新居浜訪問経験：**初めて

**来訪動機・きっかけ：**四国旅行を計画している時に、るるぶとまっぴるに「東洋のマチュピチュ」とあったので行きたいと考え、四国旅行の旅程に入れた。新居浜市への目的は東平とマイントピアだけである。そもそも他に何があるのか雑誌では分からなかった。東平は圧倒される迫力で良い。また、この施設(東平歴史記念館)も、昔ここに人々が住んでいたのが分かる。非常に良かった。ただ、もう少し体験型の展示があったら、さらに良くなると思う。

東平までの道のりが非常に怖かった。この奥にも遺産があるようなので見に行きたいが、軽装なので断念した。こういう情報は事前に分かるようにしてほしい。観光情報全体が愛媛県自体少ないかなという印象である。現在、四国を回っているのでこれから高知県に行く予定である。

### 3-4-3. 新居浜市観光ワークショップ

#### 実施概要

本計画の策定にあたり、特にこれからの新居浜市の将来を担う地域の若年層や、近隣地域の若年層からの意見が重要です。そこで「愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部」、「国立大学法人愛媛大学」、「国立大学法人香川大学」にご協力いただき、3回のワークショップ(以下、WS (Work Shop) と言う。)と、愛媛大学公開講座を開催しました。こうしたWSや公開講座は、総勢 100 名以上の地域の高校生や大学生らと、新居浜市観光について深く考える機会となりました。

#### 第 1 回 新居浜市観光WS

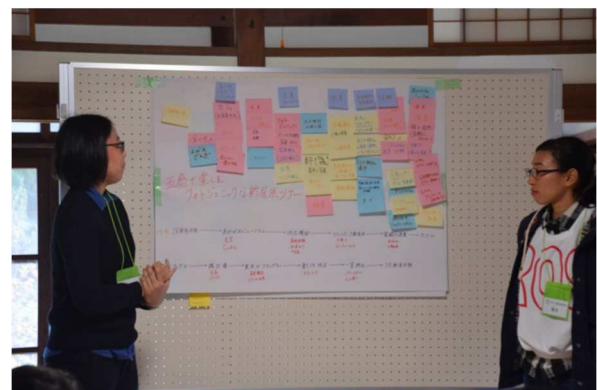
**開催日時** 平成 29 年 11 月 11 日  
**開催場所** 星越エリア 山田社宅 元住友共同電力株式会社社長宅  
**参加者** 22 名  
**参加組織**

「愛媛県立新居浜南高等学校 ユネスコ部」、「香川大学経済学部 西成研究室」、「新居浜市役所 運輸観光課」、「株式会社 JTB 中国四国 松山支店」、「株式会社いよぎん地域経済研究センター」、「株式会社矢野経済研究所」

#### 実施概要

山田社宅群、旧新居浜選鉱場、旧星越駅舎などの産業遺産が点在する星越エリアの「元住友共同電力(株)社長宅」を会場として、地域の若年層である「愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部」や、外部の視点として「香川大学経済学部 西成研究室」にご協力いただき、新しい観光資源の掘り起しや、交流人口拡大に向けたアイデアについてグループワークを行いました。

その結果、『女子による女子のための美しく生まれ変わる新居浜女子旅』、『五感で楽しむフォトジェニックな新居浜ツアー』、『冬の新居浜 超プレミアム体験ツアー -魅惑の夜景クルーズ-』、『新居浜桜の旅』といった産業遺産群を中心にしながら、今までにない新しいアイデアによる様々な新居浜市の資源を活用したツアー案が提案されました。



## 第2回 新居浜市観光WS

開催日時 平成29年11月13日  
開催場所 香川大学 幸町キャンパス  
参加者 27名  
参加組織

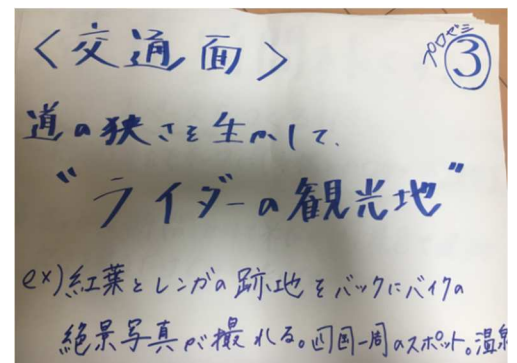
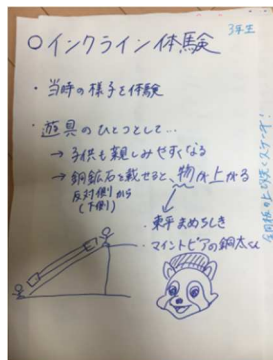
「香川大学経済学部 西成研究室」、「株式会社 JTB 中国四国 松山支店」、「株式会社 矢野経済研究所」

### 実施概要

香川大学経済学部 西成准教授にご協力いただき、WSを行いました。

第1回WSに参加していない学生も含め、総勢27名で新居浜市の魅力的な観光資源や、新しいツアーについての提案、新居浜市観光の問題点などをグループに分かれ話し合い発表しました。

この結果、『東平におけるインクライン体験』、『目玉となる東平フードの開発』、『二次交通の不備を逆手に取ったライダーの聖地化』、『産業遺産へのプロジェクションマッピング』など、大学生独自の視点から多くのアイデアが提案されました。



## 平成29年度 愛媛大学公開講座 in 新居浜市

開催日時 平成29年11月18日  
開催場所 新居浜市役所 消防庁舎4階  
コミュニティー防災センター  
参加者 74名(アンケート回答者数)

### 実施概要

愛媛大学の実施している地(知)の拠点整備事業(COC事業)と連携し「新居浜市における観光振興の実現に向けて」をテーマに公開講座を開催しました。愛媛大学社会共創学部 井口 梓准教授が「地域資源を活かした着地型観光」と題した講演の後、株式会社



ジェイティービー日本版 DMO サポート室長 山下 真輝氏が「地方創生のための『きょうそう』戦略を考える」と題した講演を行いました。

また、愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部によるプロジェクトの研究発表や、「新居浜市にもっと人を呼び込むために必要なこと」をテーマにしたパネルディスカッションを実施しました。



井口 梓氏



山下真輝氏



新居浜南高等学校ユネスコ部

### 第3回 新居浜市観光WS

開催日時 平成29年11月27日  
 開催場所 愛媛大学 城北キャンパス  
 参加者 80名  
 参加組織

「愛媛大学社会共創学部」、「株式会社 JTB 中国四国 松山支店」、「株式会社いよぎん 地域経済研究センター」、「株式会社矢野経済研究所」

#### 実施概要

愛媛大学公開講座と連動し、愛媛大学社会共創学部 井口准教授にご協力いただき、愛媛大学の学生を集め、総勢80名で新居浜市の魅力的な観光資源や、新しいツアーについての提案を、グループに分かれ話し合い発表しました。

失恋した人をターゲットとした『別子だから、「失恋旅行」』、ファミリーをターゲットにスタンプラリー・ライトアップを提案した『イルミネーションを活用した「家族×Electric walk」』、大学生をターゲットにした『銅山の中に秘密基地をつくらう!』といった、地域の大学生ならではの視点から、数多くのアイデアが提案されました。





### 3-4-4. 新居浜市民に向けたアンケート調査

本計画の策定にあたり、市政モニター制度を利用したアンケートを実施しました。

#### 実施概要

調査対象者 平成29年度 市政モニター 180人  
 調査期間 平成29年9月1日(金)～平成29年9月15日(金)  
 調査方法 郵送またはインターネット

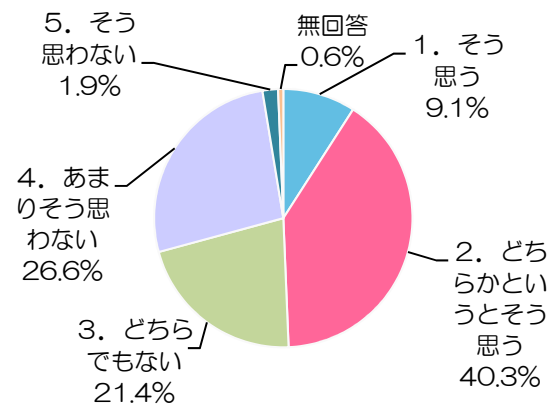
主要なアンケート結果は次のとおりです。

#### 問. 新居浜市はこれまで観光に力を入れてきたと思いますか。(1つ選択)

「2. どちらかというと思う」(40.3%)と答えた人が最も多く、次いで「4. あまりそう思わない」(26.6%)、「3. どちらでもない」(21.4%)の順となっています。

この結果から、市民意識として、新居浜市と観光というイメージがあまり結びついていないことがわかります。

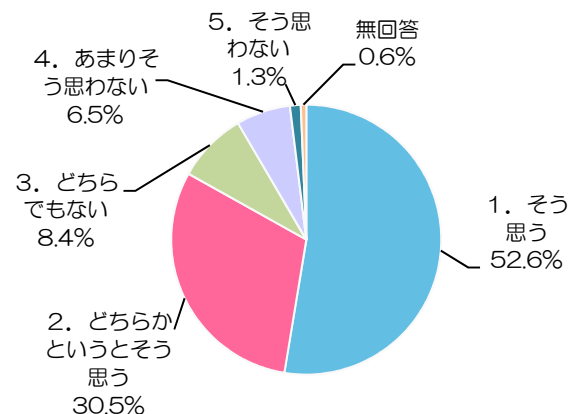
1. そう思う	14人
2. どちらかというと思う	62人
3. どちらでもない	33人
4. あまりそう思わない	41人
5. そう思わない	3人
無回答	1人
合計	154人



#### 問. 新居浜市は、今後観光に力を入れていくべきだと思いますか。(1つ選択)

「1. そう思う」(52.6%)と答えた方が最も多く、「2. どちらかというと思う」(30.5%)を合わせると、全体の8割以上の方が、新居浜市も今後は観光に力を入れていくべきであると考えており、地域経済の活性化や地方創生の方策として、観光振興が有効な手段であると認識している人が多いことがわかります。

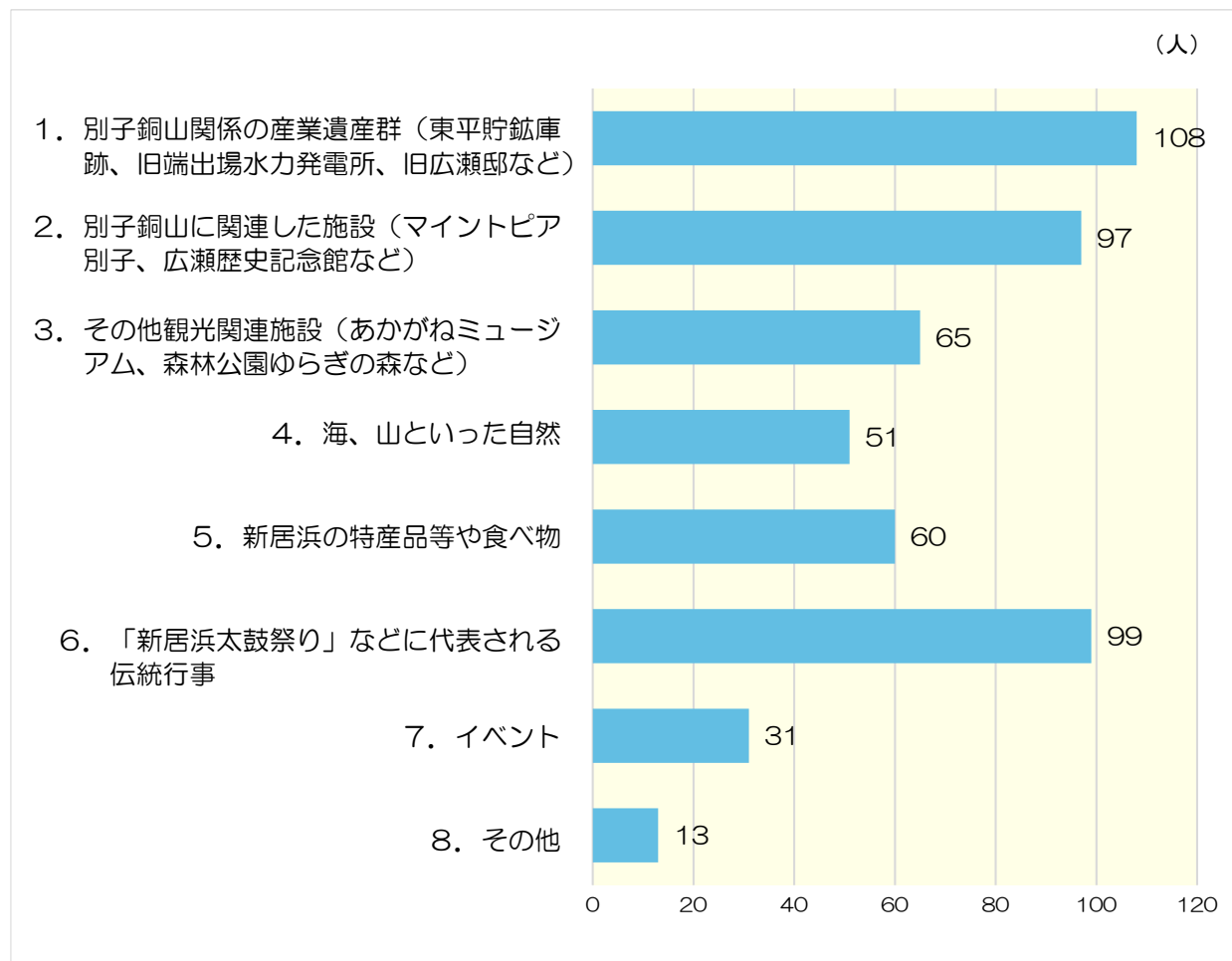
1. そう思う	81人
2. どちらかというと思う	47人
3. どちらでもない	13人
4. あまりそう思わない	10人
5. そう思わない	2人
無回答	1人
合計	154人



問. 新居浜市の観光資源のうち、何によって観光客の増加を図るべきだと思いますか。(複数選択)

「別子銅山関係の産業遺産群」、「別子銅山に関連した施設」と回答した人が最も多く、新居浜市が全国に誇るべき観光資源であると認識されていることがわかります。しかし、自由意見ではアクセス性の悪さや、PRが十分できていない、あるいは市民自身が産業遺産に関する知識がないなどの意見が寄せられ、今後、さらに観光資源化していく上での課題や、産業遺産に関する市民意識のギャップが浮き彫りとなっています。

また、「新居浜太鼓祭り」についても多くの方が観光資源であると認識していますが、毎年のように鉢合わせが発生しているという負の要素もあり、今後、全国に誇れる観光資源としてPRしていくためには、市民や観光客が安全、安心に楽しめる環境作りが不可欠であると考えます。



### 3-4-5. 外国人モニターツアー

開催日時 平成30年1月27日

開催場所 旧広瀬邸

参加者 6名

参加組織

「株式会社JTB中国四国 松山支店」、「株式会社矢野経済研究所」

#### 実施概要

第1回WSにて提案されたアイデアである『「旧広瀬邸」における茶道体験』という観光メニューを、外国人視点から評価するために松山市在住の外国人を対象とした「外国人モニターツアー」を実施しました。新居浜市在住の裏千家茶道講師の方々にご協力いただき、旧広瀬邸の新座敷を利用した茶道体験会を実施しました。

#### 参加者の声

女性・27歳(ベトナム)：お茶を飲むだけでなく、日本の伝統のお菓子を歴史ある建物（旧広瀬邸）で味わえたことは、非常に楽しい体験でした。新居浜市の他の歴史的な遺産も見たいと思いました。

女性・21歳(中国)：立派な日本建築の家を見られたこと、そこで茶道を体験できたことは貴重な体験となりました。

女性・45歳(アルゼンチン)：抹茶を自分で入れるのは初めての経験でしたが、講師やアシスタントの方が非常に丁寧に教えてくださり、楽しく抹茶を入れることができました。また、茶道だけでなく歴史・文化についてもたくさん教えていただき、勉強になりました。



### 3-5. 新居浜市観光動向の現状分析

新居浜市への観光入込客数は増加傾向にあります。日帰りの観光客が多くを占めていることがわかりました。これは、新居浜市内において観光需要を充足する宿泊施設の不足や、松山市、高松市といった四国における定番の宿泊地からのアクセスの良さが影響していると考えられます。また、多くの観光客は愛媛県内から来訪していることがわかりました。

観光客アンケートでも上記と同様の傾向が確認された他、各施設への満足度は高いものの、「自然景観」、「街並み」などは観光客からの関心が低く見ていないこと、「飲食施設」、「物販施設」への関心も低いこと、新居浜市観光において特定の施設だけが目的地となり、新居浜市内を周遊していないことなどの傾向が把握されました。

また、「新居浜市観光振興計画策定委員会」においては、新居浜市内では観光施設が点在していることや、各種観光施設にアクセスするための二次交通が整備不足であること、観光施設間の連携した取り組みも不足していることや、宿泊客やビジネス関連客が夜に楽しめる飲食店やアクティビティが不足していることなどの意見が出されました。

さらにWSやモニターツアー、市政モニターアンケートを通して、新居浜市の地域資源や観光振興について多くの意見をいただきました。これらを踏まえ、次節において、新居浜市の地域資源や、観光振興に関する課題等を整理します。

## 3-6. 新居浜市の地域資源と課題整理

### 3-6-1. 新居浜市の地域資源

本計画の策定にあたり実施した各種調査から、新居浜市の地域資源を一覧表にまとめました。

	有形資源	無形資源	複合資源
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤石山系」</li> <li>・「高山植物」</li> <li>・「新居大島」</li> <li>・「銚子の滝」、「清滝」、「魔戸の滝」</li> <li>・「瀬戸内海」</li> <li>・「温泉」</li> <li>・「エコロジャイト」</li> </ul> <b>天然記念物</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定文化財「一宮神社のクスノキ群」・県指定文化財「瑞応寺のイチョウ」「赤石山高山植物」「久貢山のソテツ」・市指定文化財「バクチノキの群生」「ミヨウショウジザクラ」等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「四季」</li> <li>・「気候」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「別子・翠波はな街道」</li> <li>・「別子ライン」</li> </ul>
歴史・文化的資源(産業遺産群を含む)	<b>産業遺産群</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「旧端出場水力発電所」</li> <li>・「端出場鉄橋」「端出場隧道」</li> <li>・「東平貯鉱庫・索道基地跡」</li> <li>・「生子山(えんとつ山)」</li> <li>・「星越地区の社宅群」 など</li> </ul> <b>建物</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一宮神社」「瑞応寺」などの神社仏閣</li> </ul> <b>特産品</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種特産品 →「新居浜の逸品」</li> </ul>	<b>伝統文化・芸能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新居浜太鼓祭り」</li> <li>・「飾り幕職人の技術」</li> <li>・「大島とうどおくり」</li> <li>・「食文化」</li> <li>・「お手玉」</li> <li>・「船木のかぶと踊り」</li> <li>・「垣生のじょうさ節」</li> </ul> <b>歴史</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住友諸企業の歴史」</li> <li>・「別子銅山の歴史」</li> </ul> <b>イベント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「にいほま納涼花火大会」など</li> </ul>	<b>公園</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「滝の宮公園」、「池田池公園」「山根公園」などの公園施設</li> </ul> <b>文化施設</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広瀬歴史記念館」</li> <li>・「あかがねミュージアム」</li> <li>・「別子銅山記念館」</li> <li>・「マイントピア別子(端出場ゾーン・東平ゾーン)」</li> <li>・「別子山ふるさと館」</li> <li>・「マリパーク新居浜」</li> <li>・「森林公園ゆらぎの森」</li> <li>・「愛媛県総合科学博物館」</li> <li>・「塩の博物館」</li> <li>・「各種体育施設」</li> <li>・「新居浜ふるさと観光大使」</li> </ul>
産業に関する資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「工業地帯」</li> <li>・「各種医療施設」</li> <li>・「鹿森ダム」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の持つ技術力 →「新居浜ものづくりブランド」、「新居浜ものづくりマイスター」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「工業地帯の景色(夜景等)」</li> </ul>

参考文献：須田寛(2009)『観光 新しい地域づくり』学芸出版社

## 新居浜ふるさと観光大使

全国的に知名度のある郷土出身者や新居浜市にゆかりのある人に、その人の職域や人脈などを通して、新居浜市の観光や物産などの魅力ある情報を発信していただき、新居浜市の知名度の向上と観光振興を図ることを目的に、平成21年度(2009年)に創設しました。

## 大使一覧

- 水樹 奈々さん(声優・歌手)
- 高見 知佳さん(タレント)
- 福西 崇史さん(サッカー解説者、元プロサッカー選手)
- 近藤 勝也さん(アニメーター、イラストレーター)
- 鴻上 尚史さん(作家、演出家)
- 三宅 重行さん(ラーメン店「風雲児」店主)
- 井川 香四郎さん(作家)



(左)水樹奈々さんの新居浜ふるさと観光大使委嘱式(平成22年2月20日)



(右)井川香四郎さんの新居浜ふるさと観光大使委嘱式(平成29年11月3日)

## 新居浜ものづくりブランド

新居浜市では、市内企業が有する優れた製品や技術を「新居浜ものづくりブランド」として認定し、愛媛県の「すご技データベース」に登録された製品・技術とも連携を図りながら、重点的な販路開拓や受注拡大に努めています。



## 新居浜ものづくりマイスター

新居浜市では、技能尊重気運の醸成と優れた技能・技術の維持・伝承や、次代のものづくり産業を担う人材を育成することを目的として「新居浜ものづくりマイスター認定事業」を実施しています。

「新居浜ものづくりマイスター」は、新居浜市のものづくりの基盤技術を支える技能・技術者の中から、特に優れた技術を有し、人材育成や技能・技術の伝承等に意欲のある人の推薦を公募し、選考委員会による審査等を経て、新居浜市長が認定します。

## 新居浜の特産品・郷土料理

新居浜市には、「白いも」や「えび天、えび竹」、「ざんき」といった伝統的な食品から、「別子飴」や「ハタダ栗タルト」といったお菓子まで、様々な特産品があります。

郷土料理としては、「ふぐざく」があります。「ふぐざく」は、ふぐの切り身、皮、ネギ、カワハギの肝に薬味を加えて、ポン酢で味付けをした新居浜市発祥の郷土料理です。また、「いもだき」は秋の風物詩として親しまれている名物料理です。



ふぐざく

## 新居浜の逸品

新居浜市には、様々な優れた製品があります。その中から、新居浜商工会議所を中心に、行政や各団体で構成する「新居浜逸品カタログ推進協議会」が、特に優れた特産品として認定した製品が「新居浜の逸品」です。



### <酒類>

七福芋焼酎「あんぶん」、純米酒「華姫桜」

### <お菓子類>

「かなみ」、「抹茶大福 指月」、「瀬戸の源氏巻」など

### <郷土料理等>

「えび天」、「ふぐざく」など

### <製造品等>

「うろこ取り名人」「オリジナルオーダークロップ」、「オリジナルレオタード」など

### 3-6-2. 新居浜市観光の課題

本計画に係る各種調査結果から、新居浜市観光の課題を次のとおり整理しました。検討にあたっては、各種調査によって得られた新居浜市の観光動態のうち、観光振興による経済波及効果を阻害していると考えられる観光動態を「新居浜市の観光動態の課題」として整理するとともに、これら課題の要因として想定されるものを、「新居浜市観光施策の課題」として整理しました。

## 新居浜市の観光動態の課題

#### 課題1 観光客が新居浜市内を周遊していない。

→目的地が1箇所ないし2箇所程度に留まっており、新居浜市内の主要観光施設や飲食施設を周遊しない。

#### 課題2 観光客が新居浜市内に宿泊していない。

→宿泊を伴わない観光動態が多数派となっている。

#### 課題3 観光客が新居浜市の特産品・お土産品を認識しておらず、具体的な消費に結びついていない。

→「新居浜といったら〇〇」と観光客がイメージできるお土産品や特産品が少なく、具体的な消費に結びついていない。

#### 課題4 四国外から来ている観光客にとって、新居浜市が四国内周遊における重要な立ち寄り場所となっていない。

→新居浜市の観光は、愛媛県内及び四国3県からの需要に支えられており、四国外から来ている観光客にとっての重要な立ち寄り場所となっていない傾向が見られる。

#### 課題5 インバウンド観光客の訪問が少ない

→インバウンド観光客数が少ない。

#### 課題6 新居浜市を訪れている多くのビジネス関連客においても、「市内を周遊していない」「特産品、お土産品を認識しておらず、消費に結びついていない」などの傾向が見られる。

→新居浜市の特徴として、四国随一の工業都市として多くのビジネス関連客が訪れていることが挙げられるが、それらビジネス関連客においても、一般的な観光客と同様の傾向が見られ、宿泊、交通以外の具体的な消費に結びつけられておらず、需要の取りこぼしがある。



## 新居浜市の観光施策の課題

### <ソフト面>

- 課題1 新規観光客獲得のための情報発信・PR不足
- 課題2 観光客の市内周遊を促す周遊ルートや体験メニューの整備不足
- 課題3 観光客が新居浜市に宿泊する観光動機の創出不足
- 課題4 既存の地域の特産品、名物料理、お土産品の周知PR不足
- 課題5 地域資源と観光客ニーズを結びつける特産品、名物料理、お土産品開発不足
- 課題6 特産品、名物料理、お土産品のブランド化不足
- 課題7 新居浜市内における観光関連事業者(観光・物産・交通・宿泊)の強固な協力体制の不在
- 課題8 インバウンド観光客への情報発信・PR不足
- 課題9 インバウンド観光客の受入態勢の整備不足

### <ハード面>

- 課題10 観光客を受け入れる宿泊施設数の不足
- 課題11 JR新居浜駅周辺における飲食店機能、物産機能の不足
- 課題12 インバウンド観光客の受け入れのための環境整備不足(多言語サイン・キャッシュレス環境等)
- 課題13 二次交通網

## 参考資料. JR新居浜駅におけるビジネス関連客ヒアリング調査

「新居浜市には多くのビジネス関連客が訪れているが、具体的な消費に結びついていないのではないか」という仮説を検証するために、JR新居浜駅に調査員を配置しビジネス関連客へのヒアリング調査を実施しました。以下にヒアリング調査結果の一部を掲載します。

### 主要な意見

「新居浜市でお土産を購入したことがない」

「何が新居浜市の特産品、お土産かもわからない」

「新居浜市では特に立ち寄る場所がないし、何かあるのかもわからない」

「新居浜駅周辺に立ち寄れる飲食店・物販店などが無い」

### ビジネス関連客の声(一部抜粋)

#### 東京都 50代 男性

→新居浜市には何度か出張で来ているが、「別子銅山」を新居浜駅に置いてある観光マップを見て初めて知った。お土産は、松山にて購入する予定であり、新居浜で購入する予定はない。

#### 愛媛県 30代 男性

→新居浜市には何度も来ているが、新居浜市でお土産を購入したことがない。愛媛県民でも新居浜の名物が何かわかっていない。観光について別子銅山も東平も、行くコストに見合うほどのものがあるとは思えないので、今更行こうとは思わない。新居浜市に限らず、東予全体が工業都市のイメージであり、観光に来るイメージはない。

#### 京都府 60代 男性

→新居浜市に来るのは4回目であるが、今までお土産を購入したことがない。

→昨日は新居浜市に一泊したが、食事はスーパーで惣菜を購入しホテルで食べた。本当は新居浜市の地元の料理を食べたかったのだが、新居浜駅周辺に飲食店が何もないので仕方なくそうした。

→新居浜市に何度か来ている人にも、新居浜市の観光といった場合に何かあるのか知られていないと考える。PR、情報発信不足である。

#### 東京都 50代 男性

→お土産は松山空港に行って買う予定である。新居浜市のお土産と言われてもすぐに思い浮かばない。仕事で関わる新居浜市の方に聞いたことがあるが、これといったおすすりも無い。

→新居浜市には観光で来たいとは思えない。そもそも市内の交通の便がよくない。今朝も宿泊したホテルにタクシーを予約したが、朝はタクシーが混んでいて予約できなかった。

#### 神奈川県 50代 男性

→新居浜市でお土産を購入する予定はない。どんなお土産があるのか知らないし、そもそもここから空港まで電車で持ち歩くのに邪魔である。

→新居浜市に何かあるかよく知らない。しかし、新居浜市には山も海もあるのだから、こうした地場のものを積極的に利用した飲食店など、魅力的なものはたくさん作れるポテンシャルはあるのではないかと考える。

### 3-6-3. 新居浜市観光の強み・弱み・機会・脅威（SWOT分析）

観光市場の動向も含む外部環境を踏まえて、新居浜市の観光における強み・弱み・機会・脅威を次のように整理しました。

特に、内部環境である「強み(Strength)」と「弱み(Weakness)」は、さらに「素材」、「立地」、「イメージ」、「推進力」に関する事項に分類しています(「素材」はさらに、「ソフト」、「ハード」に分類しています)。「機会(Opportunities)」と「脅威(Threats)」は、「全国」、「四国」における事項に分類しています。

内部環境	強み (Strength)	機会 (Opportunities)	外部環境
	<p><b>【素材】</b> ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業が保有する先進技術</li> <li>ビジネス関係の出張客の多さ</li> </ul> <p>ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>別子銅山関係の産業遺産群</li> <li>産業遺産群に関連する建築物や街並み、風景</li> <li>「新居浜太鼓祭り」などに代表される伝統行事</li> <li>新居浜市内の山川海、高山植物といった豊富な自然の資源</li> <li>日本の200名山としても知られる東赤石山</li> <li>ビジネスホテルの施設数、ベッド数の多さ</li> </ul> <p><b>【立地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松山自動車道、JRなど四国の周遊ルートにおける主要な動線上に位置している</li> </ul> <p><b>【イメージ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住友グループ発祥の地として、グループ内外からの知名度の高さ</li> <li>四国における工業都市としてのイメージ</li> </ul> <p><b>【推進力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興に向けた近隣自治体や行政機関等との連携体制（東予ものづくり三市連携推進協議会・NS観光推進協議会（新居浜市・四国中央市））</li> </ul>	<p><b>【全国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の増加による、アクティブシニア層の国内旅行需要の増大</li> <li>東京オリンピック・東京パラリンピックの開催に伴うインバウンド観光客の増加見込み</li> <li>国策としての観光振興への取り組み</li> <li>インバウンド観光客の増加（日本全体）</li> </ul> <p><b>【四国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四国全体におけるインバウンド観光客への取り組み</li> <li>インバウンド観光客の増加（四国内）</li> <li>東予東部圏域振興イベントの開催</li> <li>法皇山脈ブランド化ステップアップ事業</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;">弱み (Weakness)</p> <p><b>【素材】</b> ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名物料理、特産品、お土産品の不足</li> <li>インバウンド観光客の受入態勢（言語対応、インバウンド向け観光メニューの少なさ）</li> <li>市内を周遊させる仕組みやメニューの不足</li> <li>地域における観光ガイド機能の不足</li> </ul> <p>ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客をターゲットとした宿泊施設の不足</li> <li>四国遍路の札所がない</li> <li>二次交通の整備</li> <li>インバウンド観光客の受入体制（多言語サイン・パンフレット、Wi-Fi、キャッシュレス環境等）</li> </ul> <p><b>【立地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松山空港、高松空港といった四国における主要な空港からのアクセスの悪さ</li> </ul> <p><b>【イメージ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光地としてのイメージが希薄</li> <li>全国的に知名度が低い</li> </ul> <p><b>【推進力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光推進体制の基盤が弱い</li> <li>マーケティング機能が弱い（情報収集、戦略的な情報発信、PRの実施）</li> <li>市民レベルでの観光施策への関心度</li> </ul>	<p style="text-align: center;">脅威 (Threats)</p> <p><b>【全国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費税率の引き上げによる旅行需要の縮小</li> <li>人口減少による旅行需要の縮小</li> <li>北海道、北陸、九州新幹線の全線開通</li> <li>国内外におけるLCC路線の拡充</li> <li>日本国内における観光の地域間競争の激化</li> </ul> <p><b>【四国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松山道後温泉本館の改修</li> <li>四国における他自治体の積極的な取り組みによる地域間競争の激化（農泊など、滞在時間を伸ばす取り組み）</li> </ul>	

図 17. 新居浜市観光における SWOT 分析

